

# 横浜市がん撲滅対策推進条例に基づく平成 28 年度実施状況について

## 横浜市がん撲滅対策推進条例 第 18 条に基づき、 平成 28 年度の横浜市のがん対策に関する施策の実施状況を報告します。

「横浜市がん撲滅対策推進条例」は、横浜市のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がんの予防及び早期発見に資するとともに、全ての市民が適切ながんに係る医療を受けられるようにするための総合的ながん対策を推進することを目的に、平成 26 年第 2 回市会定例会において市会議員全員の提案により成立し、10 月に施行されました。

※二重線については、平成 28 年度新規の取組 ※本資料の項番号は、報告書の項番号と一致させています。

### 総括 (報告書 1 ページ)

#### ■「総合的ながん対策の推進」

「横浜市がん撲滅対策推進条例」の趣旨に基づき、総合的ながん対策の推進に取り組んでいます。「よこはま保健医療プラン 2013」及び「健康横浜 21」のがんに関する記載を補充し、本市のがん対策の目指す方向性についてまとめた「横浜市がん対策の今後の進め方」に従い、総合的ながん対策を推進しました。

### 1 がんの予防の推進 (第 6 条関係) (報告書 2-3 ページ)

#### 区役所 健康福祉局

喫煙、食生活などの生活習慣などが健康に及ぼす影響について、普及啓発を行いました。

- ・「健康横浜 21」、「よこはま保健医療プラン 2013」の計画に基づき、様々な啓発活動を行いました。
- ・保護者向け啓発として、横浜市 P T A 連絡協議会を通じて、小中学校等 509 校に受動喫煙防止リーフレットを配布しました。

#### 教育委員会事務局

中学校において、がん教育のモデル授業(公開)を開催し、学校長、教諭、養護教諭等とともに、県内の他自治体の担当者等とがん教育の方法や次年度以降の取組について意見交換を行いました。



受動喫煙防止リーフレット

### 2 がんの早期発見の推進 (第 7 条関係) (報告書 4-9 ページ)

#### (1) がん検診の状況 (報告書 4-6 ページ)

##### 健康福祉局

職場の検診などの他に受診機会のない方で、一定の年齢要件等を満たす市民の方に、がん検診を実施しました。胃がん検診での内視鏡による検診を開始するなど、選択肢を増やすことで受診率向上に向けて取組を進めています。

がん検診の受診率の目標は、国同様、平成 28 年のがん検診受診率を 50% (胃、肺、大腸がんは当面 40%) としています。胃、肺、大腸がんは目標を達成しました。子宮、乳がんについても受診率は着実に向上しています。

受診率向上に向けた取組として、子宮頸がん、乳がんの検診初年度の方などに無料クーポン券を送付したほか、妊婦の方へ母子健康手帳とあわせて交付している健診券綴り

《受診率の目標及び実績》

	平成 22 年 実績	平成 25 年 実績	平成 28 年 実績	【参考】 平成 28 年 全国平均
胃がん	32.0%	37.6%	42.6%	40.9%
肺がん	20.8%	37.6%	45.5%	46.2%
大腸がん	21.7%	35.8%	41.9%	41.4%
子宮がん	39.6%	44.6%	46.1%	42.3%
乳がん	41.5%	43.0%	45.7%	44.9%

※ 国民生活基礎調査に基づく市民のがん検診受診率

の中に、新たに子宮頸がん検診無料クーポン券を追加するなど、取組を進めました。

がん検診の対象となる方が、定期的に受診していただけるよう、無料クーポン券の対象者以外の方に、個別勧奨通知を送付しました。勧奨にあたっては、年代別、受診歴別に通知内容を変える等、きめ細やかな受診勧奨を実施しました。

#### (3) 各区局での取組 (報告書 8 ページ)

##### 区役所

- ・子育て中の親を対象にした乳がん触診モデルを用いての自己触診法の紹介や受診啓発
- ・生活習慣改善講座でのがん検診の普及啓発
- ・イベントでのがん検診に関する広報活動等を行いました。

##### 健康福祉局

受診率向上に向けた取組として、横浜消防出初式 2017 等でがん検診についての PR を行いました。

##### 水道局

ピンクリボンデザインの横浜水缶の製造・販売・配布など、がん検診に関する広報活動を行いました。

##### 子ども青少年局

妊娠の届出をした妊婦に対し、妊婦健康診査事業の一環として「子宮頸がん検診(細胞診)」の検査項目を設けており、妊婦健康診査費用補助券を交付しています。

### 3 がんに係る医療の充実 (第 8 条関係) (報告書 10-12 ページ)

#### (1) がん診療連携拠点病院等 (報告書 10 ページ) 医療局・医療局病院経営本部

市内のがん診療連携拠点病院は県の指定病院を含め、市内で 13 病院が指定されています。

#### (2) 高度で先進的な医療技術 (報告書 11 ページ) 医療局病院経営本部

市民病院では、患者への身体的な負担の軽減が期待される、I M R T (強度変調 放射線治療) の施設基準を取得し、平成 28 年 4 月から前立腺がんでの保険適用を開始しています。

横浜市立大学附属病院では、平成 28 年 11 月より遺伝子検査外来を設立し、がん組織における遺伝子の変化を解析して効果的な薬剤を探索する検査である、がん遺伝子検査の提供を開始しました。

#### (4) 横浜市小児がん連携病院 (報告書 12 ページ) 医療局

小児がんにおける診療体制の充実や相談支援体制の構築を図るために、小児がん診療に実績のある 4 病院を「横浜市小児がん連携病院」として指定しています。

### 4 がん患者及びその家族等への支援 (第 9 条関係) (報告書 13-17 ページ)

#### (1) がんの相談 (報告書 13 ページ) 医療局・医療局病院経営本部

がん診療連携拠点病院等にはがん相談支援センターが設置されており、がんについて詳しい看護師や生活全般について相談できるソーシャルワーカーなどが、患者や家族の相談に対応しています。

#### (2) 仕事と治療の両立支援 (報告書 13-14 ページ) 医療局・医療局病院経営本部・経済局

神奈川県社会保険労務士会の協力により、がん診療連携拠点病院等のがん相談支援センター及び横浜しごと支援センターに社会保険労務士(労働問題や社会保険を専門とする国家資格者)を派遣し、がん患者の治療と仕事の両立に向けた相談に対応しました。

また、事業所への支援として、がん患者が働きやすい環境づくりを進めるための啓発物品(研修等に使用できる映像資料(DVD)、リーフレット、ポスター)を作成しました。

### (3) ピアサポートの推進 (報告書 14 ページ) 医療局・医療局病院経営本部

がん経験者やその家族が自身の経験を活かして相談に応じるピアサポーターを養成するため、講習会を行いました。また、ピアサポーターによる相談の場を増やすため、相談事業を実施する市内3病院に対して補助を行いました。

### (4) アピアランス(外見)ケアへの支援 (報告書 15 ページ) 医療局

がんの治療に伴う頭髪の脱毛に悩む患者の社会参加や就労継続を支援するため、新たにウィッグや帽子等の購入経費の一部補助を開始しました。また、がん患者の外見上の変化に関する情報やケアの提供に取り組む、がん診療連携拠点病院等に経費の一部を補助するモデル事業を開始しました。

### (5) 若年者の在宅ターミナルケア支援 (報告書 15 ページ) 医療局

20～39歳のがん末期と診断された方の在宅生活を支援するために、在宅療養の際に利用する訪問介護や福祉用具貸与等のサービスにかかる経費の一部補助を新たに開始しました。

### (6) NPO法人が行うがんに関する市民啓発、人材育成事業の支援 (報告書 15 ページ) 医療局

がん患者及び家族の支援を目的としたNPO法人が実施する事業に対する補助を行いました。

### (7) 市立病院及び市立大学での取組 (報告書 16 ページ) 医療局病院経営本部

市立病院では、がんを経験したピアサポーターによる患者の気持ちに寄り添った相談対応を始めました。

### (8) がん患者への支援 (報告書 16-17 ページ)

#### 健康福祉局

小児慢性特定疾病のうち、小児がんを含む特定の疾患について医療費の自己負担分の一部補助及び福祉サービスを行いました。

#### 文化観光局

「クラシック・ヨコハマ」の一環として、小児がん征圧キャンペーン「生きる～2017 New Year 若い命を支えるコンサート」(主催：毎日新聞社)を実施しました。

#### 健康福祉局・医療局

がん征圧・患者支援チャリティ活動「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016」(主催：日本対がん協会/リレー・フォー・ライフ・ジャパン各実行委員会)を共催しました。

## 5 緩和ケアの充実 (第10条関係) (報告書 18 ページ)

### (1) 緩和ケアを提供する医療機関の整備促進 医療局

市内で緩和ケア病床を有する病院は9病院、181床となっています。

### (2) 緩和ケアに関する市民啓発 医療局

市民啓発の一環として、がんの疼痛緩和をテーマとした市民公開講座及び講演会を共催し、緩和ケア及び在宅医療の充実に向け、市民意識の向上を図りました。

## 6 在宅医療の充実 (第11条関係) (報告書 19 ページ)

#### 区役所・医療局

在宅医療と介護の連携推進に向け、横浜市医師会と協働し、在宅医療連携拠点の設置・運営(新規開設1区、累計18区)を行いました。また、地域の医療・介護に携わる職種への研修を行い、がん患者の在宅療養を支援しました。

## 7 医療従事者の育成及び確保 (第12条関係) (報告書 19 ページ)

#### 医療局

がんに関する専門看護師、認定看護師及び認定薬剤師等の養成のための人材教育経費を負担する医療機関等に対し補助を行い、がんに関する専門性の高い技術を持つ医療従事者の育成を支援しました。

(取得予定資格) 専門看護師：精神看護(1) 認定薬剤師：外来がん治療(3)

認定看護師：緩和ケア(2)、がん化学療法看護(1)、乳がん看護(1)、がん放射線療法看護(1)

## 8 情報の収集及び提供等 (第13条関係) (報告書 20-24 ページ)

#### 医療局

10月に「横浜市がん対策推進キャンペーン」として横浜市営地下鉄での貸切広告列車や横浜市営バスのパートラッピングバスの運行、みなとみらい駅での大型広告、市内5か所でのラベンダーライトアップを行いました。また、パンフレットを作成し、相談窓口である「がん相談支援センター」と「小児がん相談支援室」を周知しました。

統計データを収集し、市内のがん診療の現状の把握を行うとともに、がん患者の就労に関するアンケート調査を実施しました。

横浜地域のがんに関する医療実態の把握を目的にNDB(ナショナルデータベース：全国のレセプトデータ等を一元化して国が保有するデータベース) データを受領し、解析を進めています。

#### 文化観光局

MICEを活用した次世代育成事業として、学会主催者との共催で市内在住・在学の小・中学生を対象とした「がんジュニアセミナーin横浜」を開催しました。

#### 教育委員会事務局

市立図書館では、医療や健康、がんの診断・治療・闘病、がん検診に関する企画展示を実施し、ブックリストやパンフレット・ちらしを配布しました。また、横浜市立大学と共催で頭頸部がんに関する講座も開催しました。

#### 国際局・健康福祉局・医療局・医療局病院経営本部

包括連携協定を締結している独立行政法人国際協力機構(JICA)が、平成27年より実施している「セルビア国『国家乳がん早期発見プログラム改善プロジェクト』」の受入研修に際し、神奈川県予防医学協会、市民病院や市立大学附属病院等と連携し、横浜市における検診や治療、研究について紹介しました。

## 9 がん研究の推進 (第14条関係) (報告書 25 ページ)

#### 医療局

横浜市立大学における先進的ながん治療に関する研究を支援するため、研究費及び研究を支援する人件費を補助しました。

(主な研究) ロボット支援型手術、一次治療不応である神経内分泌癌に対するテモゾロミド単独化学療法(研究者の支援を行う人材による主な研究支援) 研究費獲得に向けた研究計画書の作成支援セミナー開催

## 10 平成29年度のがん対策関連の主な新規事業 (報告書 26 ページ)

- ・受診勧奨通知または無料クーポン券対象者への再勧奨通知(対象年齢の拡充)
- ・乳がん患者に対してのチーム医療の促進(診察、患者支援、診療所との連携を推進するがん診療連携拠点病院等の支援)
- ・小児がん連携病院への専門資格者派遣の試行実施



ラベンダーライトアップ



平成 28 年度

横浜市がん撲滅対策推進条例に基づく  
実施状況報告書

平成 29 年 9 月

横浜市

# — 目 次 —

I 総括	1
II 実施状況	2
1 がんの予防の推進（第6条関係）	2
(1) 主な取組	
(2) 各区局の主な取組状況	
2 がんの早期発見の推進（第7条関係）	4
(1) がん検診の状況	
(2) 市立病院での取組	
(3) 各区局での取組	
3 がんに係る医療の充実（第8条関係）	10
(1) がん診療連携拠点病院等	
(2) 高度で先進的な医療技術	
(3) 地域連携クリティカルパス	
(4) 横浜市小児がん連携病院	
4 がん患者及びその家族等への支援（第9条関係）	13
(1) がんの相談	
(2) 仕事と治療の両立支援	
(3) ピアサポートの推進	
(4) アピアランス（外見）ケアへの支援	
(5) 若年者の在宅ターミナルケア支援	
(6) NPO法人が行うがんに関する市民啓発、人材育成事業の支援	
(7) 市立病院及び市立大学での取組	
(8) がん患者への支援	
コラム アピアランス（外見）ケア	
5 緩和ケアの充実（第10条関係）	18
(1) 緩和ケアを提供する医療機関	
(2) 緩和ケアに関する市民啓発	
(3) 市立病院及び市立大学での取組	

6	在宅医療の充実（第11条関係）	19
7	医療従事者の育成及び確保（第12条関係）	19
8	情報の収集及び提供等（第13条関係）	20
	(1) 市立図書館からの情報提供及び情報発信	
	(2) 市立病院及び市立大学からの情報提供	
	(3) 市立病院及び市立大学からの情報発信	
	(4) 骨髄移植普及啓発事業	
	(5) がんに関する国際交流	
	(6) 情報の収集	
9	がん研究の推進（第14条関係）	25
	横浜市立大学におけるがん研究の支援	
10	平成29年度のがん対策関連の主な新規事業	26
III	各区局の実施状況	27
IV	参考資料	88
	・統計資料	
	・横浜市がん撲滅対策推進条例	

本文中の下線部は、平成 28 年度からの新規取組です。

## I 総括

「横浜市がん撲滅対策推進条例」（以下「条例」という。）は、横浜市のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がんの予防及び早期発見に資するとともに、全ての市民が適切ながんに係る医療を受けられるようにするための総合的ながん対策を推進することを目的に、平成 26 年 10 月に施行されました。

このたび、条例第 18 条に基づき、平成 28 年度の横浜市のがん対策に関する施策の実施状況を報告します。

平成 28 年 3 月、現行の「横浜市の保健医療の推進に関する計画（よこはま保健医療プラン 2013（計画期間：平成 25 年度～平成 29 年度）」及び「健康横浜 21」のがんに関する記載を補完し、横浜市の今後のがん対策の目指す施策の方向性をまとめた「横浜市がん対策の今後の進め方」を策定しました。

平成 28 年度は、「横浜市がん対策の今後の進め方」に基づき、本市の総合的ながん対策を推進しました。なお、「横浜市がん対策の今後の進め方」は、次期「よこはま保健医療プラン」の策定に合わせて見直し作業を行い、平成 30 年度からの次期よこはま保健医療プランの中に位置付けていきます。

市内の推進体制として設置している「がん対策推進会議」において、6 月に関係課長会議、7 月にがん対策推進会議を開催し、各区局のがん対策に関わる事業の実施状況について情報共有をしたほか、1 月にも関係課長会議を開催し、本市の総合的ながん対策やがん対策基本法改正等の国の動向について各所管課との意見交換を行いました。

### **がん対策推進会議（委員構成）**

副市長、港南区長、政策局長、経済局長、こども青少年局長、健康福祉局長、保健所長、医療局長、教育長、横浜市立大学事務局長

## Ⅱ 実施状況

### 1 がんの予防の推進（第6条関係）

喫煙、食生活等の生活習慣及び生活環境が健康に及ぼす影響に関する知識の普及啓発や、がんの予防の推進のために必要な施策を実施しました。

#### (1) 主な取組

がんの予防の推進については、「健康横浜 21」、「よこはま保健医療プラン 2013」の計画に基づき、各区局において様々な啓発活動を行いました。

主な啓発活動としては、ライフステージに合わせた禁煙・喫煙防止啓発リーフレットを作成し、5月31日の世界禁煙デーや区民まつり、乳幼児健康診査や肺がん検診等で配布しました。保護者を対象とした啓発として、横浜市PTA連絡協議会を通し、小中学校等509校に受動喫煙防止に関するリーフレットを配布しました。

また、小中高生など未成年者への喫煙防止教育や、横浜市薬剤師会と連携した禁煙を支援する薬局への研修会の開催、終日禁煙を実施する飲食店の登録など、受動喫煙を受けない環境づくり（健康福祉局）を進め、がんの予防の推進を図りました。

#### (2) 各区局の主な取組状況

各区において、世界禁煙デーなど各種イベントでの喫煙防止パネル展示や肺年齢測定、保健活動推進員と協働した禁煙啓発、両親教室での禁煙講話等を実施し、区福祉保健センターでは、禁煙相談を行いました。

そのほか、文部科学省の「がんの教育総合支援事業」を受託している神奈川県と連携し、学校におけるがん教育の方法、教材の作成等について検討を行いました。その一環として、市内の中学校においてがん教育のモデル授業（公開）を開催し、学校長、教諭、養護教諭等とともに、県内の他自治体の担当者等とがん教育の方法や次年度以降の取組について意見交換を行いました（教育委員会事務局）。



## 主な取組風景



受動喫煙防止啓発リーフレット



がん講演会



世界禁煙デーパネル展



たばこクイズ

## 2 がんの早期発見の推進（第7条関係）

がんの早期発見、がん検診の受診率及び質の向上等を図るために必要な施策を実施しました。

### (1) がん検診の状況

#### ア 市民のがん検診受診率

本市の目標は国と同様に、平成28年のがん検診受診率を、50%（胃、肺、大腸がんは当面40%）としています。

胃がん、肺がん、大腸がんは目標達成できました。子宮がん及び乳がんについても、受診率は着実に向上しています。

《受診率の目標及び実績》

	平成22年 実績	平成25年 実績	平成28年 実績	【参考】 平成28年 全国平均
胃がん	32.0%	37.6%	42.6%	40.9%
肺がん	20.8%	37.6%	45.5%	46.2%
大腸がん	21.7%	35.8%	41.9%	41.4%
子宮がん	39.6%	44.6%	46.1%	42.3%
乳がん	41.5%	43.0%	45.7%	44.9%

※ 国民生活基礎調査に基づく市民のがん検診受診率

胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診については全国平均を上回ることができました。国の第3期がん対策推進基本計画を踏まえ、更なる受診率向上に向け取組を進めます。

#### 【国民生活基礎調査とは】

保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定することを目的としています。

大規模調査（3年ごと）と簡易調査（毎年）があり、大規模調査時にかん検診の受診に関する調査を実施しているため、実績の把握は3年ごとになります。

#### イ 本市が実施するがん検診の現状

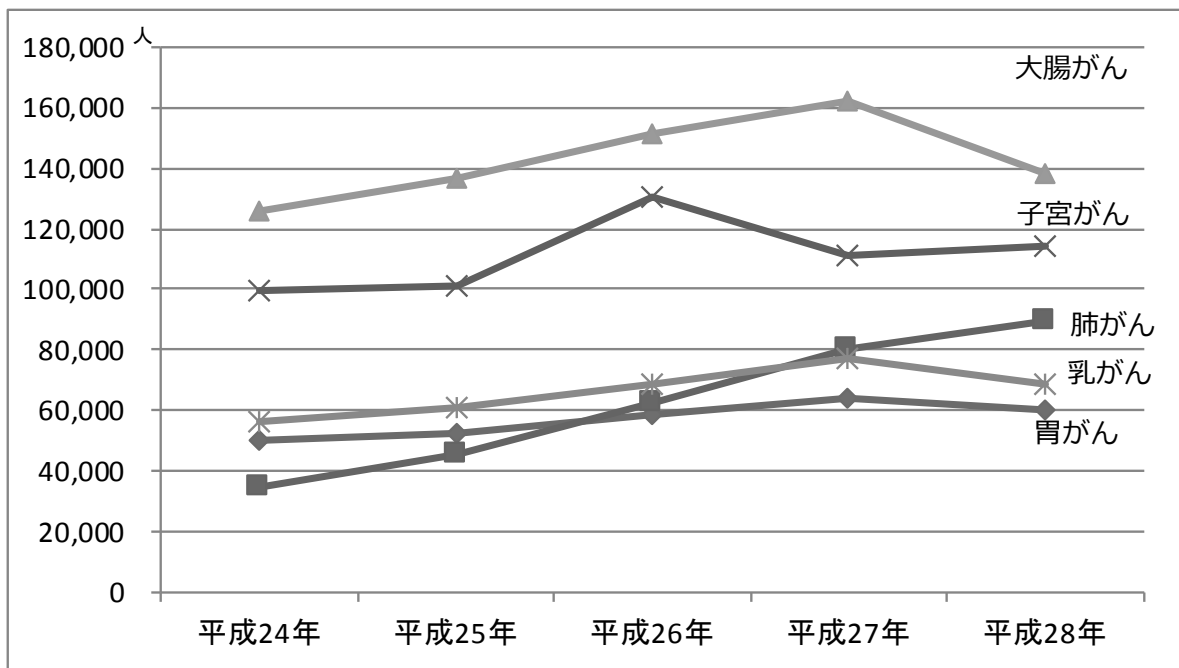
がんの早期発見・早期治療を促進する取組として、職場の検診などの他に受診機会のない方で、一定の年齢要件を満たす市民の方に、がん検診実施医療機関及び区福祉保健センター等がかん検診を実施しました。

胃がん検診事業として内視鏡による検診を開始するなど、選択肢を増やすことで受診率向上に向けて取組を進めています。

本市が実施するがん検診事業の受診者数の推移

単位：人

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
胃がん	50,145	52,845	58,835	64,093	59,967
肺がん	34,734	45,572	62,723	80,116	89,356
大腸がん	125,765	136,420	151,264	162,283	138,088
子宮がん	99,280	101,294	130,797	111,329	114,070
乳がん	56,148	60,656	68,794	77,504	68,883
計	366,072	396,787	472,413	495,325	470,364



ウ 受診率向上に向けた取組

子宮頸がん、乳がんの検診初年度の方など約5万人を対象に無料クーポン券を送付したほか、妊婦の方へ母子健康手帳とあわせて交付している健診券綴りの中に、新たに横浜市子宮頸がん検診無料クーポン券を追加するなど、取組を進めました。

また、がん検診の対象となる方が定期的に受診していただけるよう、無料クーポン券の対象者以外の方（約193万人）に個別の受診勧奨を行いました。勧奨にあたっては年代別、受診歴別に通知内容を変える等、きめ細かな方法により実施しました。

《無料クーポン券》年齢の基準日：平成28年4月1日

対象検診	対象者	配布人数 (A)	受診者数 (B)	利用率 (B)/(A) %
子宮頸がん	20歳	17,870	1,568	8.8%
	妊婦健康診査対象者 (母子健康手帳交付数)	32,171	18,764	58.3%
乳がん	40歳	28,654	6,703	23.4%

《個別勧奨通知》年齢の基準日：平成 28 年 4 月 1 日

対象者	送付内容
21 歳～39 歳の女性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮がん検診の啓発冊子</li> <li>・横浜市子宮がん検診実施医療機関名簿</li> <li>・きめ細かな勧奨通知</li> </ul>
40 歳～68 歳の男性・女性 (無料クーポン券対象者を除く)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市がん検診ガイド</li> <li>・横浜市がん検診実施医療機関名簿</li> <li>・きめ細かな勧奨通知</li> </ul>

## エ 受診環境の整備

受診しやすい環境の整備として、各がん検診の自己負担額を全額自己負担した場合の概ね 2 割と定め、受診者の費用負担の軽減を図っています。

検診の種類	検査内容	受診者の自己負担額		全額負担した場合(目安)
胃がん	エックス線検査	3,140 円		約 13,000 円
	内視鏡検査			約 15,000 円
肺がん	胸部 X 線検査	680 円		約 7,000 円
大腸がん	便潜血検査	600 円		約 2,000 円
子宮がん	細胞診検査	頸部	1,360 円	約 6,000 円
		頸部+体部	2,620 円	約 14,000 円
乳がん	視触診 + マンモグラフィ	1,370 円 (視触診 690 円、 マンモグラフィ 680 円)		約 9,000 円
前立腺がん (PSA 検査)	血液検査	1,000 円		約 4,000 円

※全額負担の場合の料金は医療機関、検査内容によっても異なります。

※自己負担額には減免制度があります。制度の対象となる方は以下のとおりです。

- 1 70 歳以上の方
- 2 後期高齢者医療制度が適用される方
- 3 生活保護世帯の方
- 4 中国残留邦人支援給付制度が適用される方
- 5 市民税県民税の非課税世帯・均等割りのみ課税世帯の方  
(事前に居住区の区役所健康づくり係で手続きが必要です)

## (2) 市立病院での取組

市立病院では、検診から診断、治療等、がんに対する診療体制を充実し、総合的な対応や集学的な治療の充実・先進的で質の高い医療を提供しています。

また、がんの早期発見、検診推奨のため、市民セミナー等を実施し、啓発活動に努めています。

## ア 市民病院 がん検診センター

横浜市がん検診（胃、肺、大腸、子宮、乳、前立腺（P S A検査））と病院独自のオプション検診（喉頭・咽頭、肝胆膵、婦人科超音波（卵巣）、口腔、前立腺（40～49歳）、肺ヘリカルC T、P E T－C T）の13項目の検診が、検診項目ごとに受診できるようになっています。

また、利用者の利便性向上のため、インターネット予約により、24時間スムーズに検診の申込みができる環境を整備しています。

がんの疑いがある受診者には、より精密な二次検診や経過観察を実施し、総合的かつ速やかに診断、治療が行える体制を整えています。

また、育児中の方が受診しやすいよう、がん検診受診者を対象にした預かり保育を実施しています。

《検診受診件数》

※内視鏡による検診は平成26年12月から実施

検診種別	受診件数		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
胃がん検診	2,786件 (内訳) X線 2,750件 ※内視鏡 36件	2,821件 (内訳) X線 2,667件 内視鏡 154件	2,665件 (内訳) X線 2,065件 内視鏡 600件
肺がん検診	3,956件	4,061件	3,772件
大腸がん検診	4,073件	4,148件	3,636件
子宮がん検診	2,829件	2,968件	3,589件
乳がん検診	3,312件	3,408件	3,172件
前立腺がん検診(P S A検査)	1,436件	1,401件	1,306件
婦人科超音波検査	2,608件	2,675件	2,682件
喉頭・咽頭がん検診	2,098件	1,613件	1,090件
肝胆膵がん検診	3,437件	3,724件	3,538件
口腔がん検診	371件	380件	372件
前立腺がん検診(40～49歳)	239件	241件	261件
肺ヘリカルC Tがん検診	277件	283件	272件
P E T－C Tがん検診	79件	137件	104件
合計	27,501件	27,860件	26,459件

## イ みなと赤十字病院 健診センター

受診者の要望に応じ、標準コースの1日ドック、2日ドックに加えて、臓器に特化した大腸ドックや肺ドックなどのほか、レディースドック、P E T－C Tスーパーがんドックなど豊富な検診で、一人ひとりのニーズに合わせた「オーダーメイドヘルスチェック」が可能となっています。

また、横浜市民を対象とする横浜市がん検診を実施したほか、がん検診を通じた早期発見・治療に対する啓発活動の取組として、みなと市民セミナーを開催しました。

《検診受診件数》

※胃がん検診のうち、内視鏡による検診は平成26年7月から実施

※横浜市がん検診のみを記載

検診種別	受診件数		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
胃がん検診	900件 (内訳) X線 841件 ※内視鏡 59件	1,134件 (内訳) X線 984件 ※内視鏡 150件	1,103件 (内訳) X線 869件 ※内視鏡 234件
肺がん検診	986件	1,276件	1,385件
大腸がん検診	1,271件	1,513件	1,476件
子宮がん検診	392件	447件	461件
乳がん検診	510件	784件	801件
前立腺がん検診(P S A検査)	471件	588件	606件
上部消化管がん検診	1,841件 (内訳) X線 594件 内視鏡 1,247件	1,966件 (内訳) X線 554件 内視鏡 1,412件	2,109件 (内訳) X線 531件 内視鏡 1,578件
大腸内視鏡がん検診	106件	134件	137件
肺C Tがん検診	254件	344件	368件
P E T - C Tがん検診	63件	107件	112件
合計	6,794件	8,293件	8,558件

(3) 各区局での取組

各区では、啓発及び広報活動として、子育て中の親を対象に乳がん触診モデルを用いたの自己触診法の紹介や受診啓発、生活習慣改善講座でのがん検診の普及啓発、保健活動推進員による各種イベントでのがん検診に関する広報活動を行いました。

受診率向上に向けた取組として、横浜消防出初式 2017 等でがん検診についての P Rを行った(健康福祉局)ほか、ピンクリボンデザインの横浜水缶の製造・販売・配布(水道局)など、がん検診に関する広報活動を行いました。

また、妊娠の届出をした妊婦に対し、妊婦健康診査事業の一環として「子宮頸がん検診(細胞診)」の検査項目を設けており、妊婦健康診査費用補助券を交付しています(こども青少年局)。

## 主な取組風景



消防出初式 2017 での啓発



ピンクリボンデザイン横浜水缶

横浜市

横浜市外に住民票を移した日以降は使用できません。  
市外に転出された場合は、転出先の市町村にお問い合わせください。

**保存 健診券綴り**

この冊子には、妊婦健康診査費用補助券、妊婦産科健康診査受診券、妊婦川崎赤十字宮頸がん検診無料クーポン券及び医療機関乳児健康診査受診券が貼られています。母子健康手帳と併せて持参してください。

	受診する時期	受診する場所	備	考	
妊婦中に利用	妊婦健康診査	妊娠週が28週中の健康診査の回数 ① 妊娠週28週までは、1週間1回 ② 妊娠週28週を超えては、2週間1回 ③ 妊娠週36週を超えては、3週間1回	市内及び市外の妊婦健康診査委託医療機関	補助券14枚	
	妊婦産科健康診査	概ね妊娠12週～27週 (妊娠中に1回)	市内の妊婦産科健康診査委託医療機関	受診券1枚(無料)	
	横浜市子宮頸がん検診	概ね妊娠初期～23週 (妊娠中に1回)	市内の横浜赤十字宮頸がん検診実施施設	妊婦川崎赤十字宮頸がん検診無料クーポン券1枚	

出産後に利用する

第1冊様式

COUPON

妊婦用

FREE

妊婦用 横浜市子宮頸がん検診無料クーポン券  
(横浜市子宮頸がん検診自己負担額を無料にします。)

発行 横浜市健康福祉局 保健事業課

母子健康手帳

COUPON

CANCER SCREENING FREE COUPON

※市内に転入の上、横浜市子宮頸がん検診実施医療機関にて提出ください。

氏名  
性別 女 生年月日 年 月 日 生  
住所  
横浜市

2冊様式

① 利用上の注意

- ※本券は、横浜市子宮頸がん検診実施医療機関で横浜市子宮頸がん検診のみ利用できます。
- ※横浜市子宮頸がん検診を受診する場合は、必要に応じて事前に医療機関に連絡してください。
- ※この券は、子宮頸がんの予防効果が低いことから、検診の有効性が認められており、横浜市子宮頸がん検診の対象者となります。本券は1冊限りです。
- ※今年度すでに横浜市子宮頸がん検診を受診している場合は本券を利用できません。
- ※本券の紛失、不具合等の場合は、発行できません。
- ※領収書の発行はできません。

横浜市がん検診に関する問合せ先は  
横浜市がん検診専用ダイヤル  
TEL 045-664-2808  
FAX 045-664-2826  
(受付時間: 30～17:15 日曜・祝日・年末年始を除く)

② 医療機関

母子健康手帳  
子宮頸がん検診  
無料クーポン券



大腸がん撲滅トイレットペーパー

### 3 がんに係る医療の充実（第8条関係）

がん患者がそれぞれのがんの状態に応じた適切ながんに係る医療を受けることができるようにするため、県及び医療機関と連携し、必要な施策を実施しました。

#### (1) がん診療連携拠点病院等

がん診療連携拠点病院は、専門的ながん医療の提供を行うと共に、がん診療の連携体制の整備、がん患者に対する相談支援、情報提供等を行う病院で、地域のがん診療の質の向上を図ることを目的に国が指定します。（がん診療連携拠点病院には、都道府県に1か所指定される「都道府県がん診療連携拠点病院」と二次医療圏ごとに指定される「地域がん診療連携拠点病院」があります。）

また、国が指定する地域がん診療連携拠点病院と同等の機能を有する病院として、神奈川県知事が独自に神奈川県がん診療連携指定病院を指定しています。

#### 市内のがん診療連携拠点病院等

病 院 名	所在区	区分※	二次保健医療圏名
済生会横浜市東部病院	鶴見区	2	横浜北部
横浜労災病院	港北区	2	
昭和大学横浜市北部病院	都筑区	2	
昭和大学藤が丘病院	青葉区	3	
神奈川県立がんセンター	旭区	1	横浜西部
横浜市立市民病院	保土ヶ谷区	2	
けいゆう病院	西区	3	
横浜医療センター	戸塚区	3	
横浜市立みなと赤十字病院	中区	2	横浜南部
横浜市立大学附属市民総合医療センター	南区	2	
横浜市立大学附属病院	金沢区	2	
済生会横浜市南部病院	港南区	3	
横浜南共済病院	金沢区	3	

※区分 1は都道府県がん診療連携拠点病院、2は地域がん診療連携拠点病院、  
3は神奈川県がん診療連携指定病院

また、上記の13病院と神奈川県立こども医療センター（小児がん拠点病院）の意見交換会を開催し、がん診療に関する病院間の連携を図り、今後の課題整理等を行いました。



## (2) 高度で先進的な医療技術

### ア 市民病院

患者への身体的な負担の軽減が期待される、IMRT（強度変調放射線治療）の施設基準を取得し、平成28年4月から前立腺がんでの保険適用を開始しています。

また、厚生労働省がん研究班をはじめ、複数のがん研究に参加するほか、日本医療研究開発機構の研究課題に採択され、がんに対する治療の確立に向けた研究を進める等、新しい治療の開発や承認前の新薬の治療を実施しました。



IMRTが実施できる  
リニアック装置

### イ みなと赤十字病院

「患者への身体的負担を軽減できる」、「より安全で確実な手術が可能となる」などの特色を持つ、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による前立腺がんに対する手術を行いました。

また、平成27年4月に臨床試験支援センターを開設し、臨床研究・臨床試験に職員が意欲的に取り組むことができるよう、積極的なサポートを行っています。その体制のもと、がんに対する新しい治療、有効な治療についての研究を実施しました。

### ウ 横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センター

手術療法、放射線療法、化学療法など、高度ながん医療を実施していくために必要な医療機器について、計画的な更新や新規導入を行い、医療水準の維持及び向上を図っています。

横浜市立大学附属病院では手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）を導入し、現在は保険収載されている前立腺がん及び腎がんにおいて積極的に治療を行っています。婦人科・外科領域についても、全国に先駆けた先進医療の届出を目標に、臨床研究として実施しています。



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」操作風景

また、平成28年11月より遺伝子検査外来を設立し、がん組織における遺伝子の変化を解析して効果的な薬剤を探索する検査である、がん遺伝子検査の提供を開始しました。

## (3) 地域連携クリティカルパス

がん診療連携拠点病院等では、手術や放射線治療等の専門的ながん治療を終えたがん患者を、地域医療機関と共同して診察するために、地域連携クリティカルパスを整備しています。

#### (4) 横浜市小児がん連携病院（医療局）

小児がんにおける診療体制の充実や相談支援体制の構築を図るために、小児がん診療に実績のある「神奈川県立こども医療センター」、「済生会横浜市南部病院」、「横浜市立大学附属病院」、「昭和大学藤が丘病院」の4病院を「横浜市小児がん連携病院」として指定しています。

なお、「神奈川県立こども医療センター」は、国により小児がん拠点病院に指定されています。小児がん拠点病院は、小児がんの医療及び支援を提供する地域の中心施設として、地域における小児がん医療及び支援の質の向上のけん引役を担っています。

##### 横浜市小児がん連携病院

病 院 名	所在区
神奈川県立こども医療センター	南区
済生会横浜市南部病院	港南区
横浜市立大学附属病院	金沢区
昭和大学藤が丘病院	青葉区

また、小児がん連携病院会議を2回開催し、患者支援・長期フォローアップの取組、アンケート調査、AYA世代（思春期世代及び若年成人世代）への対応状況や情報提供などについて意見交換を行いました。

「神奈川県立こども医療センター」は小児がん連携病院のうち、横浜市が指定する病院として横浜市小児がん相談窓口を設置し、小児がんに関する相談及び情報提供を行っています。平成28年度は患者支援者向けセミナーや市民向け公開講座を実施しました。

「第4回小児がん相談支援室セミナー 小児がん患者の自立に向けた就学・就労を考えよう」

平成28年11月19日（土）14：00～16：30 福祉保健研修交流センターウィリング横浜

「第2回小児がんセンター市民公開講座 小児がん患者・家族の支援の輪を広げよう」

平成29年3月11日（土）13：30～15：30 TKPガーデンシティ横浜

## 4 がん患者及びその家族等への支援（第9条関係）

がん患者の療養生活の質の向上並びにがん患者及びその家族等の精神的な苦痛、生活上の不安等を軽減するため、医療機関等と連携し必要な施策を実施しました。

### (1) がんの相談

市民病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、がん相談支援センター等の活動を通してがん患者及びその家族に対する支援を行いました。

### (2) 仕事と治療の両立支援（医療局・医療局病院経営本部・経済局）

#### ア がん患者及びその家族等への支援

神奈川県社会保険労務士会の協力により、がん診療連携拠点病院等のがん相談支援センター及び横浜しごと支援センターに社会保険労務士（労働問題や社会保険を専門とする国家資格者）を派遣し、がん患者の治療と仕事の両立に向けた相談に対応しました。月1回の定期相談のほか、相談希望者の都合にあわせた随時での相談にも対応しました。

実施場所 (定期相談の場合の実施日)	平成 27 年度		平成 28 年度	
	派遣回数	相談件数	派遣回数	相談件数
横浜市立市民病院（第1木曜日）	9回	7件	13回	16件
横浜市立大学附属病院（第4金曜日：平成29年1月～）	—	—	8回	19件
昭和大学横浜市北部病院	1回	1件	3回	3件
横浜市立みなと赤十字病院	—	—	2回	4件
横浜市立大学市民総合医療センター	—	—	2回	2件
けいゆう病院	1回	2件	1回	2件
済生会横浜市東部病院	1回	2件	—	—
横浜しごと支援センター（第4金曜日）	7回	17件	12回	14件
計	19回	29件	41回	60件

※神奈川県立がんセンターでは、神奈川県事業として定期相談を実施（月2回）。

#### イ 事業所への支援

がん患者が働きやすい環境づくりを進めるための啓発物品として、研修等に使用できる映像資料（DVD）、リーフレット、ポスターを作成しました。



映像資料（DVD）



ポスター



リーフレット  
(ハンドブック)

また、横浜しごと支援センターでは、企業の人事・労務担当者向けに、がん患者の就労をテーマとしたセミナーを実施しました。

「人事・労務担当者向け労働実務セミナー  
～がん患者の仕事と治療の両立支援について～」  
平成 28 年 11 月 17 日（木）15：00～17：00 横浜市技能文化会館 8 階

横浜しごと支援センター（中区万代町 2-4-7 横浜市技能文化会館 3 階）

様々な「しごと」に関する悩みに対してトータルで相談を受け付けます。

労働相談、法律相談、就業相談、キャリア・カウンセリング、  
就職支援セミナー、労働実務セミナー、情報コーナー

### (3) ピアサポートの推進（医療局・医療局病院経営本部）

がん患者や家族の悩み・不安に対して、がん経験者やその家族等が自身の経験を活かして相談を受ける（ピアサポート）場を増やすため、必要な施策を実施しました。

#### ア ピアサポーター養成講習会

がん患者やその家族の相談に応じるピアサポーターを養成するための講習会を実施しました。

「横浜市ピアサポーター養成講習（基礎編）」  
平成 29 年 3 月 30 日（木）14：00～16：00 横浜市立大学附属病院

#### イ ピアサポーターによる相談事業への支援

がん患者及びその家族ががん経験者等に不安や悩みを相談できる場の増加を図るために、ピアサポーターによる相談事業を実施する市内 3 病院に対し、補助金を交付しました。

また、横浜市立市民病院でも平成 29 年 1 月からピアサポーターによる相談を開始しました。

《実施状況》

病 院 名	開催日時
済生会横浜市南部病院	毎週月・金曜日 11：00～16：00
神奈川県立がんセンター	第 1～4 金曜日 10：00～15：00
横浜労災病院（乳がん）	毎週火曜日 10：30～15：00
横浜市立市民病院	第 2 金曜・第 4 水曜日 11：00～16：00

#### (4) アピアランス（外見）ケアへの支援（医療局）

##### ア がん患者へのウィッグ等購入経費の補助

抗がん剤の副作用等、がんの治療に伴う頭髪のはげきに悩む患者の社会参加や就労継続を支援するため、新たにウィッグや帽子等の購入経費の一部補助を開始しました。《交付件数：1,006件》

##### イ がん診療連携拠点病院等でのアピアランスケアに関する取組への支援

市内医療機関において、がん患者やその家族または医療従事者に対して、がん患者の外見上の変化に関する情報やケアの提供が行われるよう、がん患者のアピアランスケアに取り組むがん診療連携拠点病院等に経費の一部を補助するモデル事業を開始しました。

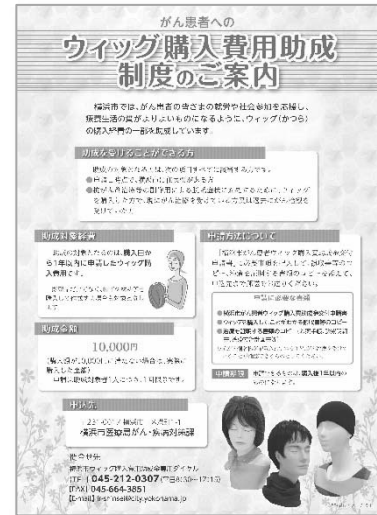
《実施状況》

神奈川県立がんセンター（アピアランスサポートセンター設置）

患者との個別相談、患者会等向けセミナー・学習会

##### ウ がん診療連携拠点病院等向け講習会の開催

医療機関でのアピアランスケアの重要性や患者支援の方法についての浸透を図るため、がん診療連携拠点病院等の医師及び看護師向けに、国立がん研究センターアピアランス支援センター長による講演を行いました。



ウィッグ購入費助成金  
案内チラシ

#### (5) 若年者の在宅ターミナルケア支援（医療局）

小児慢性特定疾病医療費助成や介護保険の対象とならない20～39歳のがん末期と診断された方の在宅生活を支援するために、在宅療養の際に利用する訪問介護や福祉用具貸与のサービスにかかる経費の一部補助を新たに開始しました。

《交付者数：6人》

#### (6) NPO法人が行うがんに関する市民啓発、人材育成事業の支援（医療局）

がん患者及び家族の支援を目的とする活動を支援するため、NPO法人が実施する事業に対する補助を行いました。

##### ・市民公開講座

「女性のためのがんフォーラム」（NPO法人SpeS Nova）

平成28年12月17日（土）12：15～16：00 神奈川区区民文化センター

##### ・よこはま乳がん学校（NPO法人神奈川乳癌研究グループ）

乳がん患者に接する医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、診療放射線技師、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士等の医療スタッフを対象に患者中心のチーム医療を目指す人材育成事業（平成28年12月～平成29年2月、全4回）

## (7) 市立病院及び市立大学での取組

### ア 市民病院

#### 〈がん患者への就労支援〉

がん相談支援センターにおいて、がん看護専門看護師等が、がん治療や療養生活等医療面のアドバイスをしながら、就労及び就職に向けた相談に対応しています。

また、ハローワーク横浜から派遣された「就職支援ナビゲーター」や社会保険労務士による相談対応をそれぞれ月1回実施し、専門の看護師と一緒に、患者の就職・就労に関する支援を行いました。

#### （ピアサポーターによる患者支援）

平成29年1月より「ピアサポート」を開始し、がんを経験されたピアサポーターによる患者の気持ちに寄り添った相談対応を実施しています。

### イ みなと赤十字病院

#### 〈がん患者への就労支援〉

がん相談支援センターにおいて、がんに関する様々な相談を、看護師やソーシャルワーカーなど専門の相談員が対応しています。

また、仕事と治療の両立への不安や治療費などの経済的な不安を解決するための就労・就職支援に取り組みました。

#### 〈みなとサロンを通じた患者支援〉

「みなとサロン」を年11回開催し、がん患者やその家族の支援に取り組みました。

#### みなとサロン

がん患者やその家族を対象にからだところのバランスを整えること、自分らしさを取り戻すことを目的に、ストレッチや体操、情報提供やミニレクチャー、語り合う場などのプログラムを提供しています。

### ウ 横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センター

#### 〈患者会への支援〉

横浜市立大学附属病院では、「ハートマンマの会（乳がん）」、「わいわいクローバーの会（子宮がん）」、「港笛会（喉頭がん）」、「さんふらわ（小児科親子の会）」、横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、「乳がんおしゃべりの会 マンマサロン（乳がん）」、「乳房再建の会再建サロン（乳房再建）」の患者会の活動を支援しました。

## (8) がん患者への支援

児童福祉法に基づいた小児慢性特定疾病のうち、小児がんを含む特定の疾患について、治療の確立と普及を図り、患者やご家族の負担軽減を目的として医療費の自己負担分の一部補助及び福祉サービスを行いました。（平成27年1月の法改正により、14疾患群704疾患のうち、小児がん（悪性新生物）は91疾患となっています）（健康福祉局）

「全日本学生音楽コンクール全国大会 i n 横浜」の開催に合わせて実施している音楽イベント「クラシック・ヨコハマ」の一環として、小児がん征圧キャンペーン「生きる～2017 New Year 若い命を支えるコンサート」（主催：毎日新聞社）を、平成 29 年 1 月 15 日に横浜みなとみらいホールで実施しました（文化観光局）。

がん征圧・患者支援チャリティ活動として開催される「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016（主催：公益財団法人日本対がん協会／リレー・フォー・ライフジャパン各実行委員会）」が、みなとみらい臨港パーク（10 月 1 日・2 日）及び新横浜日産フィールド小机（11 月 12 日・13 日）の 2 会場で開催され、横浜市は共催として、各会場でのリレーウォークに参加しました（健康福祉局・医療局）

### コラム アピアランス（外見）ケア

アピアランス（Appearance）とは「外見」のことであり、手術、化学療法、放射線治療などのがん治療は、脱毛、爪の変形、皮膚の変色、湿疹、傷あと、体の欠損といった様々な外見の変化をもたらすことがあり、患者にとっては大きなストレスとなっています。例として、女性の乳がん患者ではまゆ毛やまつげの脱毛、手の爪割れ等、「外見」に関わるものが上位となっており、特に髪の毛の脱毛と乳房切除は、自覚症状を伴う吐き気・嘔吐や手足のしびれよりも苦痛度が高い結果となっています。患者の外見に関する不安や悩みを軽くし、治療中も「生活者」として自分らしく過ごすため、外見に関するケアが求められています。

#### ■乳がん女性 苦痛度 TOP20（網掛け部分：外見症状）

順位	症状	順位	症状
1	髪の毛の脱毛	11	便秘
2	乳房切除	12	足爪のはがれ
3	吐き気・嘔吐	13	だるさ
4	手足のしびれ	14	口内炎
5	全身の痛み	15	発熱
6	まゆ毛の脱毛	16	足のむくみ
7	まつ毛の脱毛	17	手爪のはがれ
8	体表の傷	18	味覚の変化
9	手の爪割れ	19	顔のむくみ
10	手の二枚爪	20	しみ・くま

（提供：国立がん研究センター 抜粋・出典：Nozawa et al, 2013）

## 5 緩和ケアの充実（第10条関係）

がん患者の身体的又は精神的な苦痛、社会生活上の不安等を軽減する医療等が充実するよう、必要な施策を実施しました。

### (1) 緩和ケアを提供する医療機関（医療局）

市内で緩和ケア病床を有する病院は9病院、181床となっています。

市内の緩和ケア病床整備施設一覧

病 院 名	所在区	病床数	二次保健医療圏名
平和病院	鶴見区	16	横浜北部
済生会神奈川県病院	神奈川区	18	
昭和大学横浜市北部病院	都筑区	25	
横浜市立市民病院	保土ヶ谷区	20	横浜西部
神奈川県立がんセンター	旭区	20	
国際親善総合病院	泉区	25	
横浜甞生病院	瀬谷区	12	
横浜市立みなと赤十字病院	中区	25	横浜南部
横浜南共済病院	金沢区	20	
合計		181	

### (2) 緩和ケアに関する市民啓発（医療局）

市民啓発の一環として、がんの疼痛緩和をテーマとした市民公開講座及び講演会を共催し、緩和ケアの充実に向け、市民意識の向上を図りました。

第13回市民公開講座・講演会「がんの痛みはがまんしないで」  
平成28年11月20日（日）13：00～15：20 横浜市技能文化会館

### (3) 市立病院及び市立大学での取組

市民病院では、緩和ケア病棟（20床）を運営するほか、苦痛緩和に関する相談を目的とした外来を設置し、患者の様々な苦痛に対する早期スクリーニングに努めています。

みなと赤十字病院では、緩和ケア病棟（25床）を運営し、その人らしさ、自己決定権を尊重した医療・看護を提供しています。

また、両病院とも緩和ケア研修会を開催し、スタッフの基本的緩和ケア知識の取得に努めました。

横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、医療従事者向けに緩和ケア研修会として「疼痛緩和」「精神緩和」「身体緩和」「コミュニケーション技術」等をテーマにした講義及びワークショップを実施しました。また、緩和ケアチームによる院内横断的な活動により、患者さんの苦痛を緩和しました。



## 6 在宅医療の充実（第 11 条関係）（医療局）

がん患者が、在宅で療養できる体制の整備のため必要な施策を実施しました。

住み慣れた自宅等で安心して暮らしていくため、在宅医療と介護の連携推進に向け、横浜市医師会と協働し、在宅医療連携拠点の設置及び運営を行いました。（新規開設 1 区、累計 18 区運営）

各区役所では、在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修を開催しました。研修を通して、区内の医療・介護事業者が顔をあわせ、グループワーク等で意見を交換しあい、職種による考え方の違いを理解することや、研修を通じて得た人間関係により、日常業務でのコミュニケーションを円滑にし、医療と介護の連携を進めていきます。（18 区）

## 7 医療従事者の育成及び確保（第 12 条関係）

がんに係る医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、その他の医療従事者の育成及び確保を図るため、必要な施策を実施しました。

がん患者に対する診療体制の充実と医療の質の向上を目的に、専門看護師、認定看護師、認定薬剤師等の養成のための人材教育経費を負担する市内医療機関等に対して補助することで、医療機関のがんに関する専門性の高い技術を持つ医療従事者の育成を支援しました（医療局）。

取得予定資格名	平成 27 年度	平成 28 年度
精神看護専門看護師	—	1 人
緩和ケア認定看護師	3 人	2 人
がん化学療法看護認定看護師	—	1 人
乳がん看護認定看護師	1 人	1 人
がん放射線療法看護認定看護師	—	1 人
がん薬物療法認定薬剤師	2 人	—
外来がん治療認定薬剤師	3 人	3 人
計	9 人	9 人

横浜市立大学では、がん診療にすぐれた技術を持った医療人材を養成することを目的として、専門性の高い教育を行いました。

文部科学省のがん専門医療人養成のための拠点を構築する優れたプログラムに対し財政支援を行う「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」では、平成 24 年度に全国で 15 件の取組が採択され、東京大学（主幹）・横浜市立大学・東邦大学・自治医科大学が合同で申請した「がん治療のブレイクスルーを担う医療人育成」プログラムも採択されています。

平成 28 年度は、引き続きキャンサーボードの開催、4 大学合同セミナーの遠隔同時中継による開催のほか、MD アンダーソンがんセンターから講師を招き、医学国際化セミナー・がんプロ公開セミナーを同時開催しました。

博士課程「先端のがん治療専門医療人養成コース」では、がんのプロフェッショナルとして様々な専門分野が一同に集まり、新規薬物治療、先端放射線治療、臨床・基礎研究に精通し、最先端のがん治療技術を提供できるような医療人の養成を行いました。

## 8 情報の収集及び提供等（第13条関係）

市民の皆様が、がんに係る医療に関する適切な情報を得られるよう、10月に「横浜市がん対策推進キャンペーン」として横浜市営地下鉄での貸切広告列車や横浜市営バスのパートラッピングバスの運行、みなとみらい駅での大型広告、市内5か所でのラベンダーライトアップを行いました。

また、各区民まつり等イベントでの啓発物品の配布や市立図書館での企画展示、各病院での情報発信等を行い、がんに関する正しい知識の啓発、がん検診への意識向上等を勧めました。

また、保健医療関係団体が行う市民のがんに対する理解を深める事業等に対して補助し、連携してがん対策についての広報を行いました（医療局）。



ラベンダーライトアップ



貸切広告列車



パートラッピングバス

さらに、MICEを活用した次世代育成事業として、横浜市で第54回日本癌治療学会学術集会を開催した学会主催者との共催で市内在住・在学の小・中学生を対象としたセミナーを開催しました（文化観光局）。

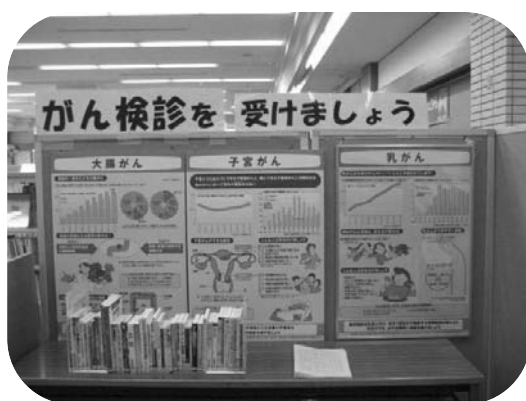
「がんジュニアセミナーin横浜」平成28年10月22日

市民病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、がん診療連携拠点病院として、がん相談支援センターで情報提供を行ったほか、国が定めた登録様式・定義に従い、院内がん登録を行いました。また、平成28年1月から全国がん登録も行っています。

### (1) 市立図書館からの情報提供及び情報発信（教育委員会事務局）

医療や健康、がんの診断・治療・闘病、がん検診に関する企画展示を実施し、ブックリストやパンフレット・ちらしを配布しました。また、横浜市立大学と共催で頭頸部がんに関する講座も開催しました。

実施場所	取組内容	実施期間
栄図書館	企画展示 「皆で知ろう！自殺予防、がん検診、結核のポイント」	9月
中央図書館	企画展示「がんについて知る」	9月～10月
	企画展示「健康づくり情報パネル展」	7月～8月
	市立大学医療講座「頭頸部癌について」	9月



情報提供の様子

左：栄図書館 右：中央図書館

### (2) 市立病院及び市立大学からの情報提供

市民病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、がん相談支援センターや医療情報コーナー等で、がんを含む医療に関する図書を配架し情報発信に努めるとともに、国立がん研究センター発行のがんに関する冊子等による情報提供を行いました。

### (3) 市立病院及び市立大学からの情報発信

#### ア 市民病院の取組

予防やがん検診受診のきっかけとして、区民まつり（西区・保土ヶ谷区）に参加するほか、がん啓発の取組として、市民公開講座を実施しました。

- ・前立腺がん啓発週間市民公開講座 「知ろう 学ぼう 伝えよう “前立腺がん” のこと」（9月）
- ・市民公開講座「がんを生きる」（3月）

横浜国立市民病院がん検診センター 前立腺がん啓発週間市民公開講座

パパの明日を、まもりたい。  
Blue Clever Campaign 2016

## 知ろう 学ぼう 伝えよう

### “前立腺がん”のこと

当院の泌尿器科医師が、前立腺がんの病気・診断・治療・検診について、分かりやすくお話しします。

**日時** 平成28年9月10日(土)  
午前10時から11時30分

**会場** 院内ホール 小ホール

**講師** 横浜国立市民病院 泌尿器科 太田 紳一(泌尿器科長)  
後田 裕 浩司

**参加無料**

【対象】横浜市内に在住の30歳以上の方で、平成28年4月以降、最近年度の健康診断が前立腺がん検診を受けたことのない方

【申込方法】はがき、電話、FAX、病院ホームページの申込みフォームでお申込みください

【申込先】はがき「ふりがな」、住所、電話番号、FAXでお申込みの方は FAX 番号  
電話 4800人 ※定員満  
申込先 横浜国立市民病院がん検診センター 事務担当  
〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56  
電話 045-331-1753 FAX 045-341-9781

市民公開講座（9月）

横浜国立市民病院 がんセンター市民公開講座

## がんを生きる

平成29年3月4日(土)  
13:30～16:30  
(13:00開場) **参加無料**

**プログラム**

第1部 生きている喜び～末期がんからの生～  
俳優・タレント、小西、剛之 氏

第2部 最新のがん治療

**会場** 横浜国立市民病院 呼吸器内科長 がんセンター1階 横浜市中区本町1-6

**最新のがん治療**  
横浜国立市民病院 呼吸器内科長 下川 雅生

**最新の腎臓がん治療**  
横浜国立市民病院 泌尿器科部長 桑 啓司

**最新の大腸がん治療**  
横浜国立市民病院 消化器外科部長 長野 大一

＜お申込み方法＞  
はがき、電話、FAX、病院ホームページの申込みフォームでお申込みください

【申込先】はがき「ふりがな」、住所、電話番号、FAX番号 (FAX番号の方)、参加人数  
電話 4800人 ※定員満  
申込先 平成29年2月24日(金) ※はがきは当日締め有期  
〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56  
電話 045-331-1753 FAX 045-341-9781

市民公開講座（3月）

## イ みなと赤十字病院の取組

がん検診受診と早期発見・早期治療の重要性に対する啓発活動のひとつとして、みなと市民セミナー「知らないと損！肝臓がんのお話」を開催しました。

また、がん診療を行う11施設で連携して講演会、勉強会等を開催し、地域のがん診療機能の向上と情報発信に努めました。

## 知らないで損！肝臓がんのお話

～かからないために、かかったときのために～

第11回 みなと市民セミナー  
参加者募集/申込費無料  
定員450名

**日時** 平成28年9月22日(木) 13:00～15:00(12:30開場)

**場所** はまぎんホールヴィアマール(みなと赤十字) 横浜西区みなとみらい3-33-1-1

主催：横浜国立市民病院  
後援：神奈川県、中央区医師会、西区医師会、南区医師会、磯子区医師会

13:00-13:05 開会にあたり 横浜国立市民病院 副院長 野田 茂樹

13:05-13:25 医師許可がいらない 横浜国立市民病院 健診センター長 伊藤 美香子

13:25-13:45 肝臓がんの内科治療 横浜国立市民病院 肝臓病内科部長 浅田 徳彦

13:45-14:00 休憩

14:00-14:20 知って安心、安全な肝臓の手術 横浜国立市民病院 外科部長兼肝臓病外科部長 杉田 光輝

14:20-14:40 肝臓をいたわる食事とは？ 横浜国立市民病院 栄養科長兼食生活指導員(管理栄養士) 黒田 真子

14:40-15:00 ご質問への回答など

～アクセス～  
みなと赤十字(みなとみらい)から徒歩約5分  
みなとみらい(みなとみらい)から「みなとみらい」バス(みなとみらい)より徒歩7分  
※駐車場のご利用はできませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください

～お問い合わせ～  
横浜国立市民病院 みなと市民セミナー課 045-628-6816(直通)

みなと市民セミナー（9月）

## みんなで学ぼう!

～肺がん、膵がん、在宅がん医療～  
～最新の話題～

第2回 横浜・川崎がん病連携研究会  
市民公開講座

**日時** 平成29年2月18日(土)  
14:00～16:05(13:30開場)

**会場** 横浜市民開港記念会館 講堂

会場費無料、申込不要、先着順  
定員400名

開会にあたり けいけい病院 院長 永田 博司

第1部 14:00-14:45  
「がん診療～最新の話題～」1) 肺がん 横浜国立市民病院 呼吸器内科部長 中村 有希子  
「がん診療～最新の話題～」2) 膵がん 新百合ヶ丘総合病院 副院長・外科部長 庄田 啓明

14:45-15:00 休憩

第2部 15:00-16:05  
「自宅で最期を迎えるがん患者様を支える訪問看護の現状と課題」 磯子中央病院 ヤマサき訪問看護ステーション管理者 時任 優子  
「在宅緩和医療～最新の話題～」 日本在宅医療学会 理事長・訪問クリニック 理事長 榎谷 典康

ご質問への回答など

主催：横浜川崎がん病連携研究会 (磯子中央病院、聖隷湘南病院、けいけい病院、済生会若原病院、新百合ヶ丘総合病院、聖隷横浜病院、横浜国立市民病院、横浜中央病院、横浜エプソン中央病院、横浜国立市民病院)

後援：横浜赤十字病院、神奈川県医師会、一般社団法人 横浜市民病連合会、一般社団法人 川崎市民病連合会、一般社団法人 横浜市民病連合会、NPO法人キャンサーネットジャパン、神奈川県医師会

～お問い合わせ～  
横浜川崎がん病連携研究会  
横浜国立市民病院 みなと市民セミナー課 がんセンター 管理課  
横浜市民開港記念会館 14階 045-628-6884(直通)

地域がん診療施設連携  
市民公開講座（2月）

## ウ 横浜市立大学の取組

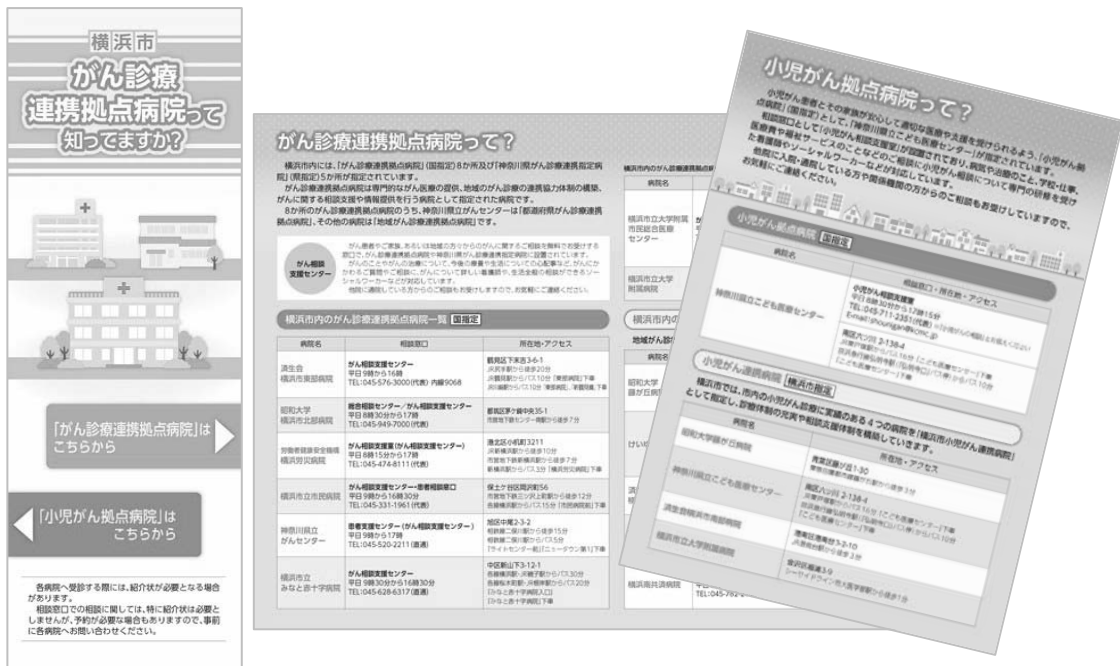
エクステンション講座として、がんに関する市民向けの講座を開催しました。

- ・頭頸部がんの新しい治療を患者さんにお届けするには（4月）
- ・がん診断の実際（7月）
- ・頭頸部がんについて（9月）
- ・婦人科領域の低侵襲手術について（10月）
- ・膵がんの診断と治療（11月）
- ・乳がん治療と乳房再建（1月）
- ・白血病の化学療法について（1月）

## エ その他（医療局）

市内地域中核病院等で開催される市民公開講座について、広報よこはまや横浜市ホームページでの周知を行いました。

また、がん診療連携拠点病院及び神奈川県がん診療連携指定病院、小児がん拠点病院、小児がん連携病院について紹介するパンフレットを作成し、相談窓口である「がん相談支援センター」と「小児がん相談支援室」を周知しました。



がん診療連携拠点病院等紹介パンフレット

#### (4) 骨髄移植普及啓発事業（健康福祉局）

神奈川県骨髄移植を考える会及び神奈川県赤十字血液センターの協力の下、骨髄ドナー登録会等を実施しました。

- ・骨髄ドナー登録会 6回開催（市庁舎4回、栄区役所・北綱島小学校各1回）

#### (5) がんに関する国際交流（国際局・健康福祉局・医療局・医療局病院経営本部）

包括連携協定を締結している独立行政法人国際協力機構（JICA）が、平成27年より実施している「セルビア国『国家乳がん早期発見プログラム改善プロジェクト』」の受入研修に際し、神奈川県予防医学協会、横浜市立市民病院、横浜労災病院、神奈川県立がんセンター、横浜市立大学附属病院と連携し、横浜市における検診や治療、研究について紹介しました。

受入期間：平成28年7月1日～7日

受入人数：8人（同国の政府職員、首都・ベオグラード市職員、医療関係者）

#### (6) 情報の収集（医療局）

##### ア がん対策に関する調査

死亡率・罹患率や医療提供・相談支援の状況について、既存の各種統計調査やがん診療連携拠点病院現況報告書から統計データを収集し、現状の把握を行いました。

また、患者、患者家族及び事業者を対象として、がん患者の就労に関するアンケート調査を実施しました。

##### イ NDB（ナショナルデータベース：全国のレセプトデータ等を一元化して国が保有するデータベース）

横浜市域のがんに関する医療実態の把握を目的にNDBデータの提供申出を行い、国から承諾を得てデータを受領しました。NDBデータの分析は横浜市立大学の臨床統計学教室と連携協定を締結し、現在分析を進めています。

## 9 がん研究の推進（第14条関係）

### 横浜市立大学におけるがん研究の支援（医療局）

横浜市立大学における先進的ながん治療に関する研究を支援するため、研究費及び研究を支援する人件費を補助しました。

新たな治療法を早期に保険診療として実施できるようにすることで、市民のがん治療の選択肢を広げるため、治療に係る医療材料費等を市立大学が負担し、研究を推進し、保険診療の適用に向けた流れを促進します。

#### 【先進的ながん研究一覧】（症例のあったもの）

区分	No.	概要	診療科	件数
手術	1	胃癌に対するロボット支援型手術	一般外科	8
	2	子宮悪性腫瘍に対するロボット支援型手術	産婦人科	4
	3	腹腔鏡下広汎子宮全摘術	産婦人科	1
	4	直腸癌に対するロボット支援型手術	消化器・肝移植外科	8
	5	頭頸部悪性腫瘍に対するインドシアニングリーン（ICG）と磁性造影剤を用いたセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	歯科・口腔外科	9
	6	生体活性化チタンを用いた顎骨欠損部位の骨再生・歯科インプラント治療	歯科・口腔外科	5
薬物療法	7	一次治療不応である神経内分泌癌に対するテモゾロミド単独化学療法	臨床腫瘍科・乳腺外科	4
	8	切除不能膵・消化管神経内分泌腫瘍に対するカペシタビン、テモゾロミド併用化学療法（CAPTEM）の有用性、安全性に関する検討	臨床腫瘍科・乳腺外科	3
	9	放射線性下顎骨壊死に対する薬物療法	歯科・口腔外科	10
	10	切除不能唾液腺腺様嚢胞癌に対するレンバチニブの臨床研究	耳鼻咽喉科	2
	11	プライマリヒト唾液腺癌オルガノイドを用いた新規薬効評価の構築と新規ターゲットの探索	耳鼻咽喉科	2
診断等	12	骨軟部腫瘍の悪性転化に対するPET/CTを用いた早期診断	整形外科	11
	13	骨巨細胞腫に対するFDG-PET検査およびNaF-PET検査の有用性	整形外科	16
	14	Birt-Hogg-Dubé（BHD）症候群の遺伝子診断と診療	病理診断科	14
	15	融合遺伝子/特定遺伝子変異部位解析による稀少腫瘍組織の病理診断	病理診断科	2

外部研究費の採択率を上げ、効率的に研究が進むように、研究者の支援を行う専門的知識・経験を持つリサーチアドミニストレータ（University Research Administrator／URA：大学における研究マネジメント人材）を配置しています。

#### 【URAによる主ながん研究支援】

- ・研究費獲得に向けた研究計画書の作成支援セミナーの開催
- ・URAによるがん研究計画書の作成支援 22 件、うち国等の公募への採択や企業との共同研究に結び付いたのは 9 件

## 10 平成 29 年度のがん対策関連の主な新規事業

今回の報告対象ではありませんが、平成 29 年度におけるがん対策関連の主な新規事業は次のとおりです。

### 1 がんの早期発見の推進（第 7 条関係）

#### 受診勧奨通知または無料クーポン券対象者への再勧奨通知（拡充）

対象年齢の拡充

平成 28 年度：20 歳・40 歳女性（平成 28 年 4 月 1 日時点）

平成 29 年度：20 歳・25 歳・30 歳・35 歳の女性

40 歳・45 歳・50 歳・55 歳の男女（ともに平成 29 年 4 月 1 日時点）

### 2 がんに係る医療の充実（第 8 条関係）

#### 乳がん対策

乳がんは、家庭や職場で中心的な役割を担う世代のり患が多く、子育て、就労等の社会的な面のサポートや副作用によるアピアランス（外見）ケアやメンタルケアをしながらの治療が実施されることが望まれます。そのため、乳がん患者に対してのチーム医療を促進するために、診療のほか患者支援や診療所との連携を推進するがん診療連携拠点病院等を支援します。

### 3 がん患者及びその家族等への支援（第 9 条関係）

#### 小児がん連携病院への専門資格者派遣の試行実施

小児がん連携病院に対する支援のほか、新たに小児がん患者や保護者、家族にがん患者がいる子どもへのサポートとして、療養中の子どもとその家族の支援を行う専門資格者等の短期派遣を試行します。



### Ⅲ 各区局の実施状況

この資料は、がん対策について平成 28 年度各区局の取組の概要を取りまとめたものです。なお、決算については、監査委員の審査を経て、第 3 回市会定例会に提出します。

報告書中、予算額・決算額が空欄になっているものは、単独事業として実施していないもの、また、金額が入っている場合でも事業費の一部に関連の経費を含む場合もあります。

## 《 平成 28 年度 がん関連事業実績一覧 》

区・局名	番号	事業名
鶴見区	1	イベントを活用した乳がん啓発
	2	生活保護受給者への肺がん検診受診勧奨
	3	禁煙相談・世界禁煙デー・肺がん検診等における禁煙啓発
	4	母親教室での禁煙啓発
	5	きらり☆元気UPーパパママ健康チェック(ヘルスアッププラン事業の一部)
神奈川区	6	がん予防啓発
	7	世界禁煙デー
	8	地域の禁煙支援の環境づくり
西区	9	がん検診啓発事業
	10	受動喫煙防止啓発及び禁煙啓発
	11	世界禁煙デーに合わせた禁煙啓発事業
	12	生活保護受給者への健康啓発
	13	健康づくり応援事業
中区	14	がん予防・早期発見のための啓発
	15	未成年への喫煙防止教室
	16	世界禁煙デーイベント
	17	禁煙個別相談
南区	18	健康啓発事業(働き・子育て世代からの健康応援事業の一部)
	19	成人向け喫煙防止・適正飲酒啓発
	20	未成年の喫煙防止・飲酒防止教育
港南区	21	がん検診啓発事業
	22	若年層への喫煙防止啓発事業
	23	受動喫煙防止・禁煙啓発事業
	24	がん対策推進事業
保土ヶ谷区	25	区内イベントでのがん検診啓発事業
	26	女性のがん検診啓発強化事業
	27	禁煙及び慢性閉塞性肺疾患(COPD)啓発事業
旭区	28	特定健診を受けようキャンペーン
	29	がん検診啓発事業
	30	禁煙キャンペーン・啓発事業
	31	禁煙相談事業
	32	女性のための健康づくり事業
	33	生活習慣病予防講座
	34	健康フェア
	35	禁煙推進・啓発
磯子区	36	がん検診・特定健康診査の啓発事業
	37	禁煙支援
	38	喫煙防止教室
	39	子育て中の母親への健康づくり啓発
	40	がん検診集中キャンペーン月間事業
金沢区	41	がん予防啓発
	42	世界禁煙デーに合わせた取組
	43	健康横浜21推進事業(禁煙)
	44	健康づくり月間事業
	45	かなざわ健康インフォメーション事業

区・局名	番号	事業名
港北区	46	大腸がん撲滅キャンペーン事業
	47	がん検診・特定健康診査 啓発事業
	48	ピンクリボンキャンペーン
	49	3歳児健康診査での乳がんとうがん全般についての普及啓発
	50	世界禁煙デー・九都県市受動喫煙防止キャンペーン
	51	小学校イベントでの防煙・受動喫煙防止啓発
	52	母子健康手帳交付時・両親教室での禁煙・受動喫煙防止啓発
緑区	53	がん検診の啓発
	54	思いやり、健康づくりの日(健康チェック及びがん予防の動機づけ支援)
	55	ニコニコ卒煙クリニック
	56	世界禁煙デー・禁煙週間
	57	子育て世代への受動喫煙防止及び禁煙啓発
	58	受動喫煙防止啓発と慢性閉塞性肺疾患(COPD)の周知
	59	保健活動推進員によるがん検診啓発
青葉区	60	がん検診普及啓発事業
	61	禁煙支援啓発事業
都筑区	62	がん検診啓発
	63	たばこ対策事業
	64	世界禁煙デーパネル展
戸塚区	65	小学校、大学での喫煙防止教育
	66	受動喫煙防止、禁煙支援についての啓発
	67	とつか健康パワーアップ事業
	68	がんについて考えよう ～とつかがん対策事業～
栄区	69	Wけんしんキャンペーン
	70	喫煙防止・適正飲酒推進事業
	71	ここからライフスタイル事業
	72	がん対策推進事業
泉区	73	がん検診啓発事業
	74	生活習慣改善啓発事業
	75	禁煙及び慢性閉塞性肺疾患(COPD)啓発
瀬谷区	76	がん検診の受診案内
	77	たばこ対策事業
	78	健康せや推進事業
総務局	79	職員を対象とした相談・啓発事業
	80	職員定期健康診断(生活習慣病総合検診)
国際局	81	JICA「セルビア国乳がん早期発見プログラム改善プロジェクト」への協力
文化観光局	82	MICE次世代育成事業
	83	クラシック・ヨコハマ推進事業
経済局	84	国際戦略総合特区推進事業(うち、がん関連の取組)
	85	がん患者専用労働相談
こども青少年局	86	横浜市妊婦健康診査事業
健康福祉局	87	「健診へ行こう！」リーフレット作成及び配布
	88	検診実施機関一覧表の作成及び配布
	89	小児慢性特定疾病医療給付事業
	90	定期予防接種事業(うち子宮頸がん予防ワクチン、B型肝炎予防ワクチン関連)
	91	がん検診事業

区・局名	番号	事業名
健康福祉局	92	健康横浜21推進事業(禁煙)
	93	骨髄移植普及及び啓発事業等
医療局	94	総合的ながん対策推進事業(がんに係る医療の充実)
	95	総合的ながん対策推進事業(仕事と治療の両立支援)
	96	総合的ながん対策推進事業(ピアサポート推進のための支援)
	97	総合的ながん対策推進事業(アピアランス(外見)に関するケアへの支援)
	98	総合的ながん対策推進事業(若年者の在宅療養に関する支援)
	99	総合的ながん対策推進事業(NPO法人が行うがんに関する活動の支援)
	100	総合的ながん対策推進事業(緩和ケアに関する市民啓発)
	101	総合的ながん対策推進事業(医療従事者の育成及び確保)
	102	総合的ながん対策推進事業(情報提供等)
	103	総合的ながん対策推進事業(情報の収集)
医療局 病院経営本部 (市立市民病院)	104	総合的ながん対策推進事業(がん研究の推進)
	105	がん検診
	106	集学的治療・高度医療の充実
	107	がん地域連携クリティカルパスの運用
	108	がん患者相談支援事業
	109	緩和ケアの充実
	110	医療従事者の育成確保
	111	院内がん登録
	112	がんに関する治験・研究の推進
	113	がん検診・がん診療に関する情報発信
医療局 病院経営本部 (市立みなと赤 十字病院)	114	がん検診
	115	集学的治療・高度医療の充実
	116	がん地域連携クリティカルパスの運用
	117	がん患者相談支援事業
	118	緩和ケアの充実
	119	医療従事者の育成確保
	120	院内がん登録
	121	がんに関する治験・研究の推進
	122	がん検診・がん診療に関する情報発信
水道局	123	ピンクリボンかながわとのコラボレーション
交通局	124	職員向け啓発
教育委員会 事務局	125	皆で知ろう! 自殺予防、がん検診、結核のポイント
	126	教職員定期健康診断(生活習慣病健康診断)
	127	がん教育
	128	中央図書館 医療講座の実施
	129	中央図書館 医療・健康関連企画展示の実施
	130	市立高等学校に在籍する生徒の入院時学習支援の実施
横浜市立大学	131	がん医療に関する医療機器の更新・導入
	132	がん相談支援センターの運営
	133	患者会への支援
	134	緩和ケアの充実
	135	医療従事者の育成及び確保
	136	がん登録の推進
	137	がんに関する市民向け講座

## 鶴見区

### 1 イベントを活用した乳がん啓発

#### 【事業内容】

個性ある区づくり推進費  
 歯と口の健康週間や臨海フェスティバル等のイベントや、各地区の保健活動推進員主催の健康教育で、乳がん自己触診法体験、がん検診受診勧奨を行いました。また、区役所内での乳がん啓発チラシの掲示を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

正しい知識と検診の必要性について啓発に取り組み、乳がん自己触診を体験した参加者は意欲的に参加しており、乳がんに対する意識づけをすることができました。

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
119 千円	115 千円

#### 【実績】

32 回、参加者延べ 2,104 人

### 2 生活保護受給者への肺がん検診受診勧奨

#### 【事業内容】

生活保護受給者健康管理支援を活用し、6月から新規で生活保護を受給する 40～64 歳の人に対して、ケースワーカーから健康管理支援として横浜市健康診査を勧奨すると同時に、区役所の肺がん検診の予約を勧める取組を行いました。区役所の肺がん検診が受けられない場合には、医療機関での受診を勧めました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	35 千円

#### 【実績】

4回、参加者延べ4人

### 3 禁煙相談・世界禁煙デー・肺がん検診等における禁煙啓発

#### 【事業内容】

問診・動機づけ面接を用いた禁煙相談や、世界禁煙デーで受動喫煙防止・禁煙啓発を実施しました。また、肺がん検診時に慢性閉塞性肺疾患(COPD)や喫煙の害についての啓発を行いました。歯と口の健康週間イベントでは、肺年齢測定や禁煙外来の紹介、チラシ配架による受動喫煙防止、禁煙啓発を実施しました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
68 千円	35 千円

#### 【実績】

- ・禁煙相談(前年からの継続者1人)
- ・世界禁煙デー(参加者128人)
- ・肺がん検診(165人(喫煙者22人に対して禁煙の啓発、内10人はスパイロメーターによる肺機能測定を実施))
- ・歯と口の健康週間イベント(参加者317人)
- ・禁煙・受動喫煙防止に関するリーフレット配布(10部)

#### 4 母親教室での禁煙啓発

##### 【事業内容】

母親教室にて、妊娠中から子育て中の喫煙の害について知ってもらうために保健師がたばこによる慢性閉塞性肺疾患(COPD)、受動喫煙の影響、禁煙のメリット、美容面への影響について説明し、禁煙のために利用できる社会資源(禁煙外来、区役所での禁煙相談)について情報提供しました。

##### 【実績】

12回、参加者延べ623人

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
35千円	29千円

#### 5 きらり☆元気 UP-パパママ健康チェック(ヘルスアッププラン事業の一部)

##### 【事業内容】

乳幼児の保護者を対象に、生活習慣病予防のための健康チェックを行いました。また、乳がん自己触診法体験等、がん予防・早期発見のための啓発、検診受診の勧奨に取り組みました。

##### 【実績】

年4回、参加者延べ200人

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
724千円	615千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

【29年度以降の対応】

がん早期発見のための啓発、検診受診の勧奨を継続していきます。

# 神奈川県

## 6 がん予防啓発

### 【事業内容】

区役所で肺がん検診を実施したほか、多くの区民が集まる場所に出向き、乳がん触診モデルを使った自己触診法体験やチラシの配布等を行いました。また、区民ホールでのパネル展示や広報よこはま神奈川区版への「がん検診受診」の特集記事の掲載を通し、がんの予防と早期発見に必要な検診受診の勧奨に取り組みました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
30 千円	30 千円

### 【実績】

- ・肺がん検診の実施(年7回、延べ 199 人)
- ・乳がん自己触診法体験(全6回、延べ 380 人)
- ・がん予防啓発、検診受診の勧奨

## 7 世界禁煙デー

### 【事業内容】

世界禁煙デー・禁煙週間に合わせ、区内幼稚園、小中学校、地域ケアプラザ等の関係機関に禁煙ポスターを掲示しました。また、区民ホールにおいて、パネル展示と禁煙啓発チラシの配布を通し広く区民に啓発しました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
16 千円	16 千円

### 【実績】

- ・禁煙ポスターの掲示(142 か所、延べ 486 枚)
- ・パネル展示(来場者約 100 人)

## 8 地域の禁煙支援の環境づくり

### 【事業内容】

区内関係機関で実施される講座や文化祭、区内各種事業、企業向け健康講座の場において、保健師の講話、健康チェック、チラシの配布等により、多くの若い年代の区民に啓発をしました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
77 千円	15 千円

### 【実績】

- ・区内各種事業での啓発(全 17 回、延べ 348 人)
- ・区内中学校、高等学校、大学の行事での啓発 (全5回、延べ 1,600 人)
- ・企業向け健康講座での健康チェック(1社、17 人)

## 西区

### 9 がん検診啓発事業

#### 【事業内容】

個人事業主研修、離乳食教室、プレパパママ教室、生活習慣改善講座、健康づくり応援イベント、区民まつり、ハマのウォーキングフェスティバル、健康情報啓発事業、生活保護受給者への健康啓発等の場にて、パネルやポスターの掲示、がん検診に関する講話、啓発資料の配布等を実施しました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
15 千円	0 千円

#### 【実績】

- ・区役所で実施する検診(受診者:肺がん 107 人、胃がん 35 人)
- ・啓発資料配布(2,597 枚)
- ・健康情報ポータルサイト(閲覧数 406 ビュー)
- ・ハマのウォーキングフェスティバル(呼気中一酸化炭素モニター測定参加者 275 人)

### 10 受動喫煙防止啓発及び禁煙啓発

#### 【事業内容】

プレママ教室、がん検診会場、小学校での喫煙防止教室、個人事業主研修会等にて、受動喫煙防止の講話やリーフレットの配布、肺年齢測定や呼気中一酸化炭素モニターでの測定、禁煙相談を実施しました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
102 千円	85 千円

#### 【実績】

- ・プレママ教室(10 回、124 人)
- ・がん検診(4 回、105 人)
- ・喫煙防止教室(5 校、828 枚)
- ・個人事業主研修(8 回、1,116 人)
- ・肺年齢測定やリーフレット配布(4 回、1,717 人)

### 11 世界禁煙デーに合わせた禁煙啓発事業

#### 【事業内容】

保健活動推進員 20 人と共に「たばこのポイ捨て防止、禁煙、受動喫煙防止」について、街頭でティッシュを配布し啓発しました。

健康づくり応援イベントとして、呼気中一酸化炭素モニターによる測定、パネル展示、リーフレットを配布し禁煙啓発を行うとともに、区役所等にポスター掲示やリーフレット配架をするとともに、戸籍課及び横浜駅行政サービスコーナーに設置された庁内モニターにおいて、禁煙啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
5 千円	5 千円

#### 【実績】

- ・保健活動推進員との街頭啓発(啓発グッズ配布数 2,000 個)
- ・健康づくり応援イベント(測定参加者 217 人)
- ・パネル掲示、ポスター掲示(区内地区センター2か所)



## 12 生活保護受給者への健康啓発

### 【事業内容】

毎月の生活保護費支給日の待機時間を活用して、健康に対する意識を高め、自ら予防や早期受診行動をとれるようパネル、ポスター等を活用した健康啓発の中でがん検診啓発や禁煙啓発等を行いました。

生活保護受給者に対し、自身の健康について振り返る機会を提供することで、予防や早期受診行動につながりました。

### 【実績】

- ・啓発資料配布(11回、1,100枚)
- ・禁煙外来受診(1人)

### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
137 千円	111 千円

## 13 健康づくり応援事業

### 【事業内容】

働き・子育て世代を対象に、区民まつり、ハマのウォーキングフェスティバル及び横浜駅周辺街頭において、がん検診関連のチラシ・ポケットティッシュの配布を行いました。また、消防署や図書館等と連携して、様々な世代が多数集まる場所に出向き、がん検診の受診につながるよう、がん関連のパネル展示を行いました。

### 【実績】

- ・ノー「スモーキング & パーキング」での喫煙防止啓発(5月28日、ティッシュ配布 2,500人)
- ・健康づくり応援イベント(6月9日、チラシ配布 250枚)
- ・食と運動で健康づくりイベント(10月3日、チラシ配布 600枚)
- ・区民まつりでの喫煙防止啓発(11月6日、チラシ配布 500枚)
- ・ハマのウォーキングフェスティバルでの喫煙防止啓発(12月4日、チラシ配布 900枚)
- ・健康情報啓発巡回パネル展(3回)
- ・職域団体(食品衛生責任者講習会)への啓発(8回、1047人)
- ・出張講座(17回、1,010人)

### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
1,898 千円	1,559 千円

### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

今後も引き続き事業を実施します。また、受診率の向上につながるよう広く周知し、検診を受ける必要性を伝えていきます。

## 中区

### 14 がん予防・早期発見のための啓発

#### 【事業内容】

①がん検診来所者、②地区活動の対象者、③食育イベント参加者、④元気フェスタ参加者、⑤中区ウォーク&健康フェスティバル参加者、⑥国際交流ラウンジ来所者、⑦生活習慣改善講座参加者、⑧公共ふ頭内における災害防止研修会の参加者を対象に、リーフレット配布を行うとともに、広報よこはま中区版で、がん予防・早期発見のための啓発、がん検診受診の勧奨に取り組みました。併せて、保健活動推進委員会と連携し、会報でがん検診を特集しました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
6千円	6千円

#### 【実績】

- ・上記①～⑧(全16回、参加者約1,900人)
- ・保健活動推進委員会報(5,000部)

### 15 未成年への喫煙防止教室

#### 【事業内容】

区内3か所の小学校で喫煙防止教室を実施して、パワーポイントを使った講義と慢性閉塞性肺疾患(COPD)体験を行い、がん予防の啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
4千円	4千円

#### 【実績】

区内3校、参加者延べ223人

### 16 世界禁煙デーイベント

#### 【事業内容】

食育に関するパネル展に合わせて、区役所内広場にて世界禁煙デーに関するパネル展示、リーフレット配布等を実施するとともに、区役所の禁煙相談の周知を行い、がん予防の啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
3千円	3千円

#### 【実績】

6月、参加者289人

**17 禁煙個別相談****【事業内容】**

広報よこはま中区版、中区ホームページ、世界禁煙デーイベントにて禁煙個別相談の周知を行い、区内在住・在勤で禁煙を希望する方を募集し、相談を実施しました。

## 個性ある区づくり推進費

H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
---------------	---------------

**【実績】**

参加者1人

## 区配予算

H28 予算額 6千円	H28 決算額 6千円
----------------	----------------

## 南区

<b>18</b>	<b>健康啓発事業(働き・子育て世代からの健康応援事業の一部)</b>	
<b>【事業内容】</b> 「赤ちゃん学級」において、保健師がパンフレットや乳がん触診モデル等を使用し、乳がんと子宮がん検診の啓発を行いました。 また、保健活動推進員の正副会長会や健康ウォーキング、健康測定会、健康講座、南なんデー等のイベント時にパンフレットやパネル等でのがん検診の啓発を行いました。	個性ある区づくり推進費	
	H28 予算額 50 千円	H28 決算額 110 千円
<b>【実績】</b> ・赤ちゃん学級(11 か所各1回、延べ 180 人) ・食品衛生講習会等(延べ 310 人) ・保健活動推進員の正副会長会(10 回、32 人) ・保健活動推進員健康測定会(1,684 人) ・南なんデー等イベント(252 人) ・乳幼児健康診査でのがん検診チラシ配布(388 人)	区配予算	
	H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
<b>【29 年度以降の対応】</b> がん早期発見のための啓発、検診受診の勧奨を継続していきます。 また、29 年度においては、広報よこはま南区版にてがん検診啓発をコラム(3 回)掲載します。		

<b>19</b>	<b>成人向け喫煙防止・適正飲酒啓発</b>	
<b>【事業内容】</b> 生活習慣改善相談や禁煙相談において、個別の相談やスパイロメータ等を用いた肺機能測定、禁煙外来の紹介等を行いがん予防の啓発を行いました。 また世界禁煙デーのイベントにおいて、保健師による呼気中一酸化炭素モニターを使った健康測定やパネル展示、リーフレット配布を行いました。 その他、区のイベント(南なんデー)における肺機能測定や地域ケアプラザ等への受動喫煙防止のチラシ配布等を行いました。	個性ある区づくり推進費	
	H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
<b>【実績】</b> ・生活習慣改善相談(毎月第1月曜、延べ 102 人) ・禁煙相談(毎月第2・4水曜、延べ9人) ・世界禁煙デー(5月、測定参加者 38 人、チラシ配布数 67 枚) ・南なんデー(10 月、参加者 300 人) ・地域ケアプラザや地区センターでのチラシ配付(500 枚)	区配予算	
	H28 予算額 30 千円	H28 決算額 30 千円

<b>20</b>	<b>未成年の喫煙防止・飲酒防止教育</b>	
<b>【事業内容】</b> 小中学校長会や小中学校養護教諭部会において、未成年者の喫煙防止・飲酒防止の出前授業について説明を行い、希望校1校に飲酒防止教育を行いました。 加えて、小中学校養護教諭向けのアンケートを行い、小中学校での喫煙防止、中学校での飲酒防止に関する授業がどのように行われているのか現状を把握しました。	個性ある区づくり推進費	
	H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
<b>【実績】</b> 未成年飲酒防止教室 (1校、237 人)	区配予算	
	H28 予算額 29 千円	H28 決算額 29 千円

## 港南区

### 21 がん検診啓発事業

#### 【事業内容】

3歳児健康診査の会場や、区内で開催している健康づくりイベントで乳がん触診モデルの体験ブースを設置し、乳がん自己触診法の説明とがん検診の受診勧奨を行いました。

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
180 千円	163 千円

#### 【実績】

- ・3歳児健康診査(年 36 回、延べ 629 人)
- ・むし歯予防デーイベント(6月2日、50 人)
- ・こうなん健康チェックイベント(9月 24 日、100 人)
- ・職域出前講座(2社、46 人)

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 【29 年度以降の対応】

乳がんの早期発見、早期治療をめざし、自己触診法の普及と検診受診の勧奨を継続していきます。

### 22 若年層への喫煙防止啓発事業

#### 【事業内容】

区内小中学校を訪問し、未成年向けの出前講話を行いました。たばこの害についてのDVD鑑賞や、ロールプレイを通してたばこの害を学んでもらい、将来たばこを吸わない選択ができるように伝えていくことでがんの予防にもつながる支援を実施しました。

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
30 千円	19 千円

#### 【実績】

- ・未成年者向けの出前講座による普及啓発(小学校4校 353 人、中学校1校 157 人)

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
31 千円	31 千円

#### 【29 年度以降の対応】

引き続き、出前講話を行います。  
過去の講座で得た保護者の喫煙状況や教育委員会が実施したアンケート結果を活用して内容を充実します。

### 23 受動喫煙防止・禁煙啓発事業

#### 【事業内容】

関係団体と連携し、世界禁煙デーに合わせてたばこの害や禁煙についてのパネル展示を行いました。また、区内健康づくりイベント等で呼気中一酸化炭素モニター測定を実施し、禁煙・受動喫煙防止の啓発を行いました。

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
305 千円	178 千円

さらに両親教室で受動喫煙の害についての講話やリーフレット配布を行いました。

喫煙、受動喫煙を防止し、将来にわたるがんの発症予防に取り組みました。

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
28 千円	28 千円

#### 【実績】

- ・両親教室(年 12 回、176 人)
- ・世界禁煙デーイベント(79 人)
- ・ひまわり健康フェア(146 人)
- ・こうなん健康チェックイベント(9月 24 日 147 人、11 月 21 日 109 人)

#### 【29 年度以降の対応】

引き続き、関係団体等と連携し、たばこの害や受動喫煙防止の普及啓発をします。

## 24 がん対策推進事業

### 【事業内容】

がん講演会の開催

関係団体と連携し、がんの専門家や医師からがん予防と生活習慣の関連性や生活習慣病予防と寝たきりの関係等についての講演を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
360 千円	200 千円

### 【実績】

・2月4日、参加者数 369 人

国立がん研究センター 津金 昌一郎医師による講演

たぐち脳神経クリニック 田口 博基医師による講演

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

引き続き、関係団体と連携し、がんの知識の普及とがん検診啓発を行います。

## 保土ヶ谷区

### 25 区内イベントでのがん検診啓発事業

**【事業内容】**

保健活動推進員や区内保育園、小学校等の関係機関と連携し、健康づくりイベントや健康講座でがん検診の啓発活動を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

・健康づくりイベントや健康講座での普及啓発(年 11 回、1,025 人)

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
53 千円	3 千円

### 26 女性のがん検診啓発強化事業

**【事業内容】**

保健活動推進員と連携し、乳がん検診啓発のための講演会を開催しました。また、3歳児健康診査および赤ちゃん教室の会場で保健活動推進員が乳がん触診モデルを用いて自己触診法の啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

年 52 回、延べ 1,740 人

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
173 千円	223 千円

### 27 禁煙及び慢性閉塞性肺疾患(COPD)啓発事業

**【事業内容】**

区内でのまつりや大学のまつり、肺がん検診の会場で喫煙者を中心に呼気中一酸化炭素モニター測定や、禁煙相談を実施しました。がん発症のリスクが高い対象者への働きかけを行い、今後のがん発症を予防できるよう取り組みました。

また、将来たばこを吸わない人が増えることでがんの発症者が減るように、子ども向けにたばこの害について啓発しました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

・まつりやがん検診での呼気中一酸化炭素モニター測定やたばこの害の普及啓発(年 12 回、1,517 人)

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
50 千円	44 千円

## 旭区

### 28 特定健診を受けようキャンペーン

#### 【事業内容】

保健師・栄養士等の地域活動で、がん検診受診勧奨とともに特定健康診査の受診勧奨を行いました。

- ・リーフレットの配布
- ・パネル展示と特定健康診査の案内

#### 【実績】

- ・健康づくり団体連絡会のパネル展示(2回、延べ 316 人)
- ・健康フェアでの配布(1,000 人)
- ・生活習慣改善講座(3回、延べ 222 人)
- ・健康生活支援事業(6回、延べ 104 人)
- ・健康教育の際に「健診を受けよう」のリーフレット配布(6回、延べ 670 人)

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
2 千円	9 千円

### 29 がん検診啓発事業

#### 【事業内容】

乳幼児健康診査や両親教室、児童扶養手当申請の待ち時間等を利用してがん検診の啓発を行いました。

禁煙キャンペーンや禁煙相談等でがん検診の受診勧奨を行いました。

肺がん検診時、結核者ハイリスク健康診査時に短時間の禁煙相談を実施しました。

健康フェア来場者やビューティーヘルスアップ教室、女性の健康づくり事業時に乳がん触診モデルの触診体験を実施しました。

#### 【実績】

- ・乳幼児健康診査・母親教室・児童扶養手当申請時リーフレット配布、DVD啓発等(延べ 727 人)
- ・がん検診受診時にリーフレットを配架し、あわせてDVDで啓発(肺がん 231 人)
- ・禁煙キャンペーン、がん検診、健康フェア、講座・教室等での乳がん触診モデル触診体験、冊子配布など(延べ 3,873 人)

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
8 千円	8 千円

### 30 禁煙キャンペーン・啓発事業

#### 【事業内容】

女性若年層への啓発(母子健康手帳交付時、両親教室、こんにちは赤ちゃん訪問時にチラシ配布)をしました。また、児童扶養手当会場で呼気中一酸化炭素モニターを使った啓発、測定を実施しました。

世界禁煙週間キャンペーンでパネル、ポスターの掲示やチラシの配布をしました。

地区開催行事に併せた保健活動推進員による禁煙キャンペーンを行いました。

#### 【実績】

- ・両親教室(延べ 217 人、呼気中一酸化炭素モニター140 人、肺年齢測定 40 人)
- ・母子健康手帳配布時(1,766 人)、赤ちゃん訪問(100 人)、保健師地区活動(50 人)、児童扶養手当会場(903 人)、養護教諭連絡会での啓発(14 人)、世界禁煙週間キャンペーン(5月下旬～6月上旬、2,500 人)、健康フェア(1,000 人)、保健活動推進員による啓発(14 地区 22 回、延べ 5,170 人)

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
203 千円	160 千円



### 31 禁煙相談事業

#### 【事業内容】

保健師が個別相談で、禁煙したい人へのアドバイス等を行いました。希望者には呼気中一酸化炭素モニターやスパイロメーターで、たばこが体に与える影響を測定し、禁煙の動機づけをしました。

また、相談後の一定期間連絡をとり、禁煙が継続していけるよう支援しました。

禁煙外来実施医療機関や禁煙支援薬局等へ情報提供、リーフレット配布を行いました。

肺がん検診時における喫煙者への簡易的な短時間相談を実施しました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
5千円	5千円

#### 【実績】

- ・個別相談(年 28 回、延べ7人)
- ・短時間相談 肺がん検診(年7回、35 人)、第二種健康診断(56 人)

### 32 女性のための健康づくり事業

#### 【事業内容】

子育て中の女性をターゲットにした健康づくり(骨密度測定)事業実施時に、乳がん触診モデルを活用した自己触診方法の指導や子宮がん検診の啓発を実施しました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
343千円	289千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 【実績】

3回、延べ 213 人

#### 【29 年度以降の対応】

ウォーキングの指導者育成を行い、若い女性に対する健康づくりを推進して行く中で、がん検診啓発を実施していきます。

### 33 生活習慣病予防講座

#### 【事業内容】

地域からの要望に応え、専門職が地域に出向き、健康講座を実施しました。その講座の中で、受診行動がとれるよう、がん検診の重要性を伝えました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
363千円	581千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 【実績】

32 回、延べ 2,281 人

#### 【29 年度以降の対応】

引き続き、地域の要望に応え健康講座を実施する中で、がん検診啓発を実施していきます。また、保健活動推進員にも協力を仰ぎ、がん検診の重要性を地域で啓発していきます。

**34 健康フェア****【事業内容】**

医師会、歯科医師会、薬剤師会、保健活動推進員、食生活等改善推進員(ヘルスマイト)と協働し、区民まつりと同時開催で、健康フェアを実施しました。特に肺がん予防の一環として、禁煙推進や受動喫煙防止のために、チラシの配布を行い、必要に応じて医師会や歯科医師会、薬剤師会、保健師の相談につなげました。

**【実績】**

健康フェア(10月16日、延べ3,658人)

## 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
30 千円	29 千円

## 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【29年度以降の対応】**

各団体と協働し実施します。

**35 禁煙推進・啓発****【事業内容】**

それぞれの地域で行われる行事に合わせ、保健活動推進員が禁煙推進・受動喫煙防止を啓発しました。その際、がん検診の重要性もあわせて啓発しました。

**【実績】**

22回、15地区、延べ8,870人

## 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
300 千円	163 千円

## 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【29年度以降の対応】**

保健活動推進員による、地域での啓発を推進します。

## 磯子区

### 36 がん検診・特定健康診査の啓発事業

#### 【事業内容】

がん検診・特定健康診査啓発パネル展を開催し、がん予防・早期発見のための啓発、がん検診受診の勧奨に取り組みました。また、3歳児健康診査時や離乳食教室に参加した母親を対象に、女性のがん検診のチラシを配布し、検診受診の勧奨を行いました。

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
100 千円	95 千円

#### 【実績】

- ・がん検診・特定健康診査啓発パネル展(10月、チラシ 460 枚)
- ・3歳児健康診査・離乳食教室での啓発活動(通年、チラシ 1,573 枚)

### 37 禁煙支援

#### 【事業内容】

世界禁煙デーパネル展において、たばこの害や禁煙相談を周知するリーフレットを配布し、がん予防の啓発を行いました。

また、区のイベント(健康づくりフェスタ)において肺年齢測定や禁煙相談を行い、禁煙を推進し、がん予防の啓発を行いました。

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 【実績】

- ・世界禁煙デーパネル展示(5月、リーフレット 206 枚)
- ・健康づくりフェスタ(測定参加者 146 人)

### 38 喫煙防止教室

#### 【事業内容】

区内小学校を対象に、外部講師によるたばこの害についての講話や、保健活動推進員と連携した喫煙防止に関するロールプレイ等を行い、がん予防の啓発を行いました。

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
176 千円	167 千円

#### 【実績】

- ・喫煙防止教室(11校、延べ 617 人)

**39 子育て中の母親への健康づくり啓発****【事業内容】**

保健師及び保健活動推進員が地域の子育てサロン等に出向き、運動習慣の定着の働きかけ(講話や測定)や、女性のがん検診の受診啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
---------------	---------------

**【実績】**

6会場、延べ 56 人

区配予算

H28 予算額 7 千円	H28 決算額 7 千円
-----------------	-----------------

**40 がん検診集中キャンペーン月間事業****【事業内容】**

28 年度の新たな試みとして、10 月の約1か月間、区役所内すべてのトイレに「大腸がん撲滅トイレトペーパー」を使用するとともに、トイレに「がん」や「がん検診」に関連した情報を掲示し、自覚症状がない方こそ「がん検診」を受ける必要がある旨を呼びかけました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額 240 千円	H28 決算額 240 千円
-------------------	-------------------

**【実績】**

10 月1～31 日、区役所内7階～地下2階 男女・多目的トイレ 27 か所

区配予算

H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
---------------	---------------

**【29 年度以降の対応】**

引き続き、ポスターやチラシ等の掲示により、がん早期発見のための啓発、検診受診の勧奨を行います。

# 金沢区

## 41 がん予防啓発

### 【事業内容】

区民まつりや健康講座などの機会を捉え、乳がん自己触診法体験やがん検診のリーフレット配布等により啓発しました。特に、乳がん好発年齢の参加者には風呂場に貼付できる自己触診法ポスターを配付しました。また、「金沢区子育て情報キラキラMAP」に乳がん自己触診法のページを掲載し、女性のがん検診について紹介しました。

### 【実績】

- ・がん検診に関する依頼講習会(全3回、延べ 108 人)
- ・乳がん自己触診法体験(延べ 500 人)
- ・生活習慣改善セミナー(10月31日、10人)  
パンフレットの配布、乳がん触診モデルの展示
- ・地域向け啓発(延べ 362 人)
- ・衛生研究所施設公開イベントパンフレットの配布(8月6日、107人)
- ・育児教室での乳がん検診啓発(237人)
- ・離乳食教室や歯科事業(むし歯予防教室等)で乳がん検診啓発(985人)

### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
100 千円	100 千円

## 42 世界禁煙デーに合わせた取組

### 【事業内容】

区内大学と連携し、世界禁煙デーイベントを行いました。また、5月に実施された乳幼児健康診査等で啓発グッズを配布、広報よこはま金沢区版5月号において禁煙や受動喫煙の害についての記事を掲載し、多くの区民がたばこの害について考えるきっかけづくりを行いました。

### 【実績】

- ・世界禁煙デーイベント(ブース来場者 94 人)
- ・受動喫煙防止グッズ、チラシの配布 (全6回、延べ 328 人)

### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
100 千円	100 千円

## 43 健康横浜21推進事業(禁煙)

### 【事業内容】

禁煙の個別相談において、喫煙によるがんのリスク等について説明・がん予防啓発を行いました。

また、未成年喫煙防止講演会を実施し、たばこによる健康被害について啓発を行いました。

### 【実績】

- ・禁煙相談(通年、延べ 26 人)
- ・両親教室(通年、126 人)
- ・県立釜利谷高校にて啓発講演会(4月21日、270人)
- ・関東学院六浦高校にて啓発講演会(12月7日、181人)

### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 44 健康づくり月間事業

##### 【事業内容】

区民が生涯を通じていきいきと元気に暮らし、自らの健康づくりに取り組むことができるよう、健康づくり月間を設け生活習慣予防の啓発などを展開して、健康寿命の延伸に向けて取り組みました。

また、区民まつりにおいてがん予防啓発ブースを出展し、積極的に啓発を行いました。

##### 【実績】

- ・いきいきフェスタ(10月15日、500人)  
がん予防・早期発見のための啓発、がん検診の受診勧奨  
乳がん触診モデルを活用した啓発  
パネル展示、パンフレットの配布

##### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
957 千円	898 千円

##### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

##### 【29年度以降の対応】

啓発媒体を活用し、引き続き事業を継続していきます。

#### 45 かなざわ健康インフォメーション事業

##### 【事業内容】

第2期健康横浜 21 の基本目標である健康寿命の延伸を目指し、区民一人ひとりにあった「楽しい健康づくり」への取組ができるよう、地域活動拠点等を活用した生活習慣(運動や食生活等)の改善に関する情報発信を行い、健康意識の向上を図りました。

##### 【実績】

- ・つながりステーションでのパンフレットの配布
- ・健康スキルアップ講座でのパンフレットの配布(12月12日、36人)

##### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
322 千円	201 千円

##### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

##### 【29年度以降の対応】

事業を見直し、区配事業や他の区づくり推進事業の中で、引き続き、がん検診の受診勧奨を継続していきます。

## 港北区

### 46 大腸がん撲滅キャンペーン事業

**【事業内容】**

区内商業施設で実施した食育イベントで大腸がんのクイズラリーを実施し、大腸がん検診について普及啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

・大腸がんクイズラリーによる普及啓発(年2回、211人)

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
11千円	11千円

### 47 がん検診・特定健康診査 啓発事業

**【事業内容】**

地域の健康づくりイベントや関係団体の講習会等でリーフレットを配布し、受診勧奨に取り組みました。また、区役所や図書館にがん検診の啓発コーナーを設置したり、ウォーキング手帳等の区役所発行物に特定健康診査についての記事を掲載するなど普及啓発に取り組みました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

・講習会等でのリーフレット配布(61回、延べ1,379部)  
 ・区役所発行物による啓発(通年、3,486部)  
 ・区役所、図書館に啓発コーナーを設置

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 48 ピンクリボンキャンペーン

**【事業内容】**

乳がんや乳がん検診の普及啓発のため、職員がピンクリボンを着用し、来庁者への啓発を行いました。また区役所、図書館等でポスターの掲示等を行い、ピンクリボン・乳がんの啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

・区役所職員のピンクリボン着用(10月、600人)  
 ・区役所、図書館内にポスターを掲示

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
5千円	0千円

**49 3歳児健康診査での乳がんとうがんとがん全般についての普及啓発****【事業内容】**

区役所で実施されている3歳児健康診査での検診リーフレットの配布や、会場でのパネル展示により、子育て世代(主に母親)に対してがん検診の普及啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

- ・3歳児健康診査でのリーフレット配布(年 36 回、3,059 人)
- ・パネルの展示(年 36 回)

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**50 世界禁煙デー・九都県市受動喫煙防止キャンペーン****【事業内容】**

世界禁煙デーや九都県市受動喫煙防止キャンペーンに合わせて、ポイ捨て防止、路上喫煙の観点からも消防署・地域振興課・土木事務所・資源循環局との連携事業として啓発を実施しました。保健活動推進員の協力も得て、区内の駅で啓発チラシ・ティッシュを配布、区役所内に啓発ブースを設け呼気中一酸化炭素濃度測定や肺年齢測定を実施しました。また、たばこの害やがん予防について啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
17 千円	13 千円

**【実績】**

- ・区内駅での街頭啓発(5月 31 日 970 人、11 月2日 1,304 人)
- ・区役所での啓発ブースによる啓発(5月 31 日、11 月2日)

**51 小学校イベントでの防煙・受動喫煙防止啓発****【事業内容】**

小学生を対象とした区内イベントでブースを出し、保健活動推進員と協働してたばこクイズを行いました。育ち・学びの世代からたばこの害やがんについて理解し、成人してもたばこを吸わないことでがんを予防する環境づくりを行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
62 千円	62 千円

**【実績】**

- ・区内イベントでのたばこクイズによる啓発(年3回、326 人)



**52 母子健康手帳交付時・両親教室での禁煙・受動喫煙防止啓発**

**【事業内容】**

個性ある区づくり推進費

母子健康手帳交付時にたばこの害に関するリーフレットの配布と喫煙している妊婦に対して禁煙指導を勧めました。

また、両親教室でたばこの害を説明する時間を設け、希望者に対しては呼気中一酸化炭素濃度測定を実施しました。

子育て世代に対してアプローチすることで家族全員をたばこの害から守り、がんの発症を予防することを狙いました。

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
2 千円	0 千円

**【実績】**

- ・母子健康手帳交付時のリーフレット、チラシの配布による啓発（通年、3,949 人）
- ・両親教室での講話や呼気中一酸化炭素濃度測定による啓発（年 12 回、1,515 人）

## 緑区

### 53 がん検診の啓発

#### 【事業内容】

がん検診のチラシを作成し、自治会回覧で区内への周知を行うとともに、健康関連講座や講演会、区民まつり、食生活等改善推進員セミナー等で既存のパンフレット等を配布し、受診勧奨を行いました。

また、区民まつりや若年者向け生活習慣改善講座、地域の幼稚園・小学校等で、乳がん触診モデルを使って、検診の啓発を行いました。

#### 【実績】

- ・胃がん検診(年13回、245人)、肺がん検診(年7回、250人)
- ・思いやり・健康づくりの日(年9回、延べ1,970人)、食育月間講演会(6月、150人)、区民まつり(10月、366人)、健康づくり月間講演会(10月、285人)、ミドリンウォーキングフェスタ(12月、88人)等でがん検診啓発チラシの配付
- ・胃がん検診案内の地域回覧(6,000枚)
- ・乳がん触診モデル体験(7回、394人)

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
32千円	32千円

### 54 思いやり、健康づくりの日(健康チェック及びがん予防の動機づけ支援)

#### 【事業内容】

月に1回区役所1階のイベントスペースで、区民向けに健康チェックを行う機会を提供する「思いやり健康づくりの日」を開催し、がんや生活習慣病の予防に対する動機づけを行いました。あわせて、検診リーフレット配布による啓発を行いました。

#### 【実績】

- ・健康チェック(年9回、延べ1,970人)再掲

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
359千円	331千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

【29年度以降の対応】

29年度も引き続き実施します。

### 55 ニコニコ卒煙クリニック

#### 【事業内容】

禁煙相談として、たばこに関する講義、呼気中一酸化炭素濃度・肺機能検査、呼気中一酸化炭素モニター、スパイロメーターによる肺機能測定、グループワーク・相談を実施しました。

また、参加者の体験談や現在苦労していること、きっかけ等を話し合い、不安や心配事があれば医師、保健師より助言を行いました。

禁煙を決意した方への支援として、1週間後、1か月後、3か月後までの禁煙相談後フォローアップを行いました。

#### 【実績】

- ・禁煙相談(年6回、参加者7人)

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
55千円	37千円

**56 世界禁煙デー・禁煙週間****【事業内容】**

世界禁煙デーに合わせ、区役所1階のイベントスペースで、禁煙に関するパネル展示及びパンフレット、チラシの配布を行いました。

期間中に開催する事業「思いやり・健康づくりの日」では、肺機能測定を実施しました。

職員への禁煙啓発として、ツイッター等を利用し、世界禁煙デーの周知を行いました。

**【実績】**

・思いやり・健康づくりの日での肺機能測定(6月、33人)

## 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

## 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
7千円	7千円

**57 子育て世代への受動喫煙防止及び禁煙啓発****【事業内容】**

母子健康手帳交付時に、喫煙の申告があった妊婦に対して、妊婦及び家族が喫煙することによる胎児への影響等を記載したチラシを配布しました。

また、乳幼児健康診査時に、受動喫煙防止のためのチラシを配布しました。

**【実績】**

・チラシ配布(400枚)

## 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

## 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
11千円	11千円

**58 受動喫煙防止啓発と慢性閉塞性肺疾患(COPD)の周知****【事業内容】**

肺がん検診時、保健活動推進員による呼気中一酸化炭素濃度測定を実施しました。問診の待ち時間を利用して、受診者に対して禁煙相談や、慢性閉塞性肺疾患(COPD)について周知を行いました。

**【実績】**

・肺がん検診受診者数(年7回、250人)

・呼気中一酸化炭素濃度測定(年7回、142人)

## 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

## 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**59 保健活動推進員によるがん検診啓発**

**【事業内容】**

保健活動推進員が区民まつりや各地区の事業等で、地域住民を対象に健康チェックを実施し、生活習慣改善を促し、健康への意識づけ、がん予防の意識づけをしました。

また、区民まつりや若年者向け生活習慣改善講座、各地区の事業等で、乳がん触診モデルを使って、がん検診の啓発を行いました。

**【実績】**

- ・健康チェック(49回、2,820人)一部再掲
- ・呼気中一酸化炭素濃度測定(20回、983人)一部再掲
- ・加速度脈波計(26回、1,506人)
- ・乳がん触診モデル(7回、394人)再掲

個性ある区づくり推進費

H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
---------------	---------------

区配予算

H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
---------------	---------------

## 青葉区

### 60 がん検診普及啓発事業

#### 【事業内容】

区内転入者及び乳幼児健康診査の来所者に、啓発チラシを配布して、がんの予防・早期発見のための啓発を行いました。

健康フェスティバル、保健活動推進員、食生活等改善推進員の地区活動、ロコモティブシンドローム講座、食品衛生講習会、環境衛生講習会において、啓発チラシを配布して、がん検診の受診勧奨を行いました。

横浜市民施設協会と協働して、「ピンクリボン活動を知ろう」イベントを開催し、啓発チラシを配布して、乳がん・子宮頸がんの予防・早期発見のための啓発を行いました。

生活習慣改善講座で乳がん触診モデルを用いた自己触診の方法を指導し、乳がんの早期発見についての啓発を行いました。

#### 【実績】

- ・転入者・乳幼児健康診査参加者へのチラシ配布(通年、15,847枚)
- ・健康フェスティバルでのチラシ・啓発グッズ配布(1,000人)
- ・保健活動推進員によるチラシ・啓発グッズ配布(延べ510人)
- ・ピンクリボンを知ろうイベント(区内8か所、チラシ各325枚)
- ・食品衛生講習会(6月、234人)
- ・環境衛生講習会(2月、36人)
- ・生活習慣改善講座(すすき野、奈良、荏田の各保育園、延べ70人)

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
4千円	4千円

### 61 禁煙支援啓発事業

#### 【事業内容】

喫煙・受動喫煙防止に関するパネル展において、慢性閉塞性肺疾患(COPD)に関するチラシや区内の禁煙外来マップの配布を行うとともに、肺年齢チェック・禁煙方法に関する相談を行い、がん予防の啓発を行いました。

個別の禁煙相談において、呼気中一酸化炭素濃度測定やニコアラート唾液テストを実施して禁煙方法に関する相談を行いました。

健康フェスティバル、保健活動推進員、食生活等改善推進員の地区活動、ロコモティブシンドローム講座で啓発しました。

食品衛生・環境衛生協会講習会において、受動喫煙防止のチラシを配布し啓発したほか、区内飲食店600店舗にダイレクトメールを送付し禁煙店の募集を行いました。

区内の公立中学校・県立高校・六大学及び広報よこはま青葉区版での受動喫煙対策の情報提供を行うとともに、区の禁煙支援事業について周知を行いました。

#### 【実績】

両親教室、ハイリスク検診、健康教育など25回、参加者延べ700人

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
41千円	41千円

## 都筑区

### 62 がん検診啓発

#### 【事業内容】

広報よこはま都筑区版・区ホームページに制度について等の掲載、チラシ(制度及び受診医療機関リスト)の配布、関連イベント(ピンクリボンフェスタ、世界禁煙デーパネル展)でのパネル掲示を行いました。

また、肺がん(結核ハイリスク者健康診査での集団指導)、乳がん(ヘルスアップセミナー、3歳児健康診査、歯周疾患予防教室で乳がん触診モデルを使った啓発)、大腸がん(食育フェアでの大腸がん検便の実演コーナー、歯周疾患予防教室での集団指導)等のがん検診啓発を実施しました。

#### 【実績】

- ・ピンクリボンフェスタ(14回、424人)
- ・世界禁煙デー(2回、1,265人)うち、イベントにおける慢性閉塞性肺疾患(COPD)疑似体験及び健康チェック体験(1回、90人)
- ・3歳児健康診査会場での啓発(24回、2,145人)
- ・おやこヘルスアップセミナー(2回、17人)
- ・歯周疾患予防教室(1回、24人)
- ・食育フェア(1回、59人)
- ・結核ハイリスク者健康診査(2回、12人)

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
382 千円	712 千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 【29年度以降の対応】

がん早期発見のための啓発、検診受診の勧奨を継続していきます。  
3歳児健康診査での乳がん検診啓発を継続実施します。

### 63 たばこ対策事業

#### 【事業内容】

禁煙相談、肺がん検診・結核ハイリスク者健康診査受診者への禁煙指導、検診会場でのパネル掲示・リーフレット配布、結核ハイリスク者健康診査会場での肺年齢測定を行いました。また、乳幼児健康診査会場でのパネル掲示や、子育て支援関係者に対して受動喫煙に関する研修を実施しました。

母子健康手帳面接時や乳幼児健康診査(4か月、1歳6か月)時にリーフレットを配布し、喫煙者には禁煙相談の案内を行いました。他にも、小学校に対して保健教材を貸し出し、周知を行いました。

#### 【実績】

- ・禁煙相談(利用者6人、禁煙成功者2人)
- ・母子健康手帳交付時・乳幼児健康診査啓発リーフレット配布(3,000部)
- ・タール模型の借用依頼(1校)

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
17 千円	28 千円

### 64 世界禁煙デーパネル展

#### 【事業内容】

世界禁煙デーに合わせてパネル掲示、肺年齢測定、慢性閉塞性肺疾患(COPD)疑似体験を実施しました。

また、保健活動推進員による健康チェックコーナー(加速度脈波計・簡易スパイロメーター)を実施し、参加者にたばこの害、慢性閉塞性肺疾患(COPD)等について啓発しました。

#### 【実績】(再掲)

- ・世界禁煙デー(2回、参加者延べ1,265人)  
うち、6月1日実施イベントにおける慢性閉塞性肺疾患(COPD)疑似体験及び健康チェック体験(90人)

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
12 千円	14 千円

## 戸塚区

### 65 小学校、大学での喫煙防止教育

#### 【事業内容】

各小学校や大学において、たばこの害や受動喫煙の害、ニコチン依存症、諸外国との取組の違いなどについて講話し、実験やロールプレイも取り入れて喫煙防止教育を実施しました。

小学校での授業終了後のアンケートでは、たばこを吸うことがかっこいいと思わないと答えた生徒は 89%、将来喫煙しないと答えた生徒は 87% でした。

横浜薬科大学新入生対象の講義終了後、講義の理解について「理解できた」「まあまあ理解できた」と答えた学生は 99%、将来喫煙しないと答えた学生は 93% でした。

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
11 千円	8 千円

#### 【実績】

全 10 回、延べ 1,657 人

### 66 受動喫煙防止、禁煙支援についての啓発

#### 【事業内容】

月 1 回、両親教室の中でたばこの害についての健康講座を行いました。母子健康手帳の交付時にたばこの煙の子どもへの影響に関するチラシを配布するほか、広報よこはま戸塚区版でもたばこ(喫煙マナーと受動喫煙の影響)についての記事を掲載して啓発を行いました。

両親教室の講話終了後のクイズでは、参加者の 94.7% に受動喫煙の影響を認知してもらえました。

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
1 千円	1 千円

#### 【実績】

- ・母親教室での講座(全 12 回、延べ 233 人)
- ・母子健康手帳交付時のチラシ配布(通年)
- ・広報よこはま戸塚区版への記事掲載(4月)

### 67 とつか健康パワーアップ事業

#### 【事業内容】

区役所の健康づくり事業のパートナーである保健活動推進員、食生活等改善推進員の活動を支援することで、地域でのがん検診啓発、生活習慣病予防などを行いました。また、健康まつりにおいて、来場者に向けて、がんに関する各種啓発を実施しました。

#### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
1,068 千円	1,381 千円

#### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

#### 【実績】

- ・保健活動推進員  
地区におけるがん検診・乳がん自己触診法の啓発等(17 地区、通年)
- ・食生活等改善推進員  
親子食育講座(食事を通じたがんを含めた生活習慣病の予防を若年層から啓発)(7回、通年)
- ・健康まつり  
マンモグラフィー車の展示をはじめ、各種啓発(11 月 3 日、来場者延べ約 9,000 人)

#### 【29 年度以降の対応】

保健活動推進員、食生活等改善推進員の活動支援を継続して実施します。また、健康まつりにおいて、マンモグラフィー車の展示など、乳がん検診の受診勧奨を強化して実施します。

**68 がんについて考えよう ～とつかがん対策事業～**

**【事業内容】**

横浜薬科大学と協働で、新入学生を対象に禁煙教育を実施しました。  
 また、乳がんの予防・啓発として、乳がん専門医による最新の乳がん治療についての講演と、有名人による体験を交えた講演を実施しました。講演後に実施したアンケートでは、「今まで乳がん検診を受診していないが、講演を聴いて検診を受けようと思った」と回答した人が半数以上ありました。

区役所が実施する各種健康づくりイベントで、がん検診受診率向上やがんの予防・治療に関する啓発を実施しました。

**【実績】**

- ・横浜薬科大学禁煙教育(4月6日・11日、314人)
- ・乳がん講演会(7月29日、455人)

**個性ある区づくり推進費**

H28 予算額	H28 決算額
1,000 千円	905 千円

**区配予算**

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【29年度以降の対応】**

29年度は、特定のがんに絞らず、がん検診受診率向上を大きなテーマに、がん全般についての講演を実施します。また、区役所が実施する健康づくりイベントにおける啓発も継続して行います。



## 栄区

### 69 W けんしんキャンペーン

**【事業内容】**

保健活動推進員が活動する際に着用する「けんしんへ行こう」ビブスを作成・着用したり、区役所のトイレや待合モニターにチラシ等を掲示することで、普及啓発を行いました。また、区役所で開催された乳がん検診で乳がん触診モデルの体験を行いました。併せて他のがん検診のリーフレットを配布し、受診勧奨・啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
188 千円	170 千円

**【実績】**

・区役所での乳がん検診での啓発(375人)

### 70 喫煙防止・適正飲酒推進事業

**【事業内容】**

両親教室参加者への受動喫煙防止に関するリーフレットの配布、世界禁煙デーに合わせて区役所でのパネル展示やチラシ配布、広報よこはま栄区版での記事掲載を行いました。また、肺がん検診で喫煙者にリーフレットを配布するなどして、たばこの害について啓発しました。区民まつりではチラシの配布とともに、希望者には慢性閉塞性肺疾患(COPD)体験や、喫煙者には禁煙のミニ講座や禁煙相談を案内し、禁煙に向けた啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
65 千円	65 千円

受動喫煙の防止や、喫煙者が禁煙に取り組みめるような支援を行い、がんの発症予防につながる働きかけを行いました。

**【実績】**

・パネル、リーフレット等による啓発や、慢性閉塞性肺疾患(COPD)体験等を通じた禁煙に向けた働きかけ(年33回、915人)

### 71 ここからライフスタイル事業

**【事業内容】**

主に20~40歳代の区内在住・在勤者を対象とした、自身のこころとからだの健康について振り返り、ライフスタイルを見直していただくための連続講座の中で、女性特有のがんについて啓発を実施しました。

講座期間中、乳がん触診モデルによる自己触診法体験や、がん検診や女性特有のがんに関するリーフレット、乳がん自己触診法が記載された浴室へ掲示可能なシートを活用して啓発を実施しました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
456 千円	346 千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

・講座内での乳がん触診モデル体験、リーフレットやシート等の配布(春コース延べ79人、秋コース延べ81人 計160人)

**【29年度以降の対応】**

事業転換し、29年度から「健康づくり講演会」を実施します。

## 72 がん対策推進事業

### 【事業内容】

3歳児健康診査において、乳がん触診モデルによる自己触診法体験、がん検診や乳がん自己触診に関するリーフレットを活用して啓発を実施しました。

区民まつりにおいて、ピンクリボンかながわと協働して、がん検診に関するリーフレットや乳がん触診モデルを活用して啓発を実施しました。

乳がん検診区役所会場において、乳がん触診モデルによる自己触診法体験、がん検診や乳がん自己触診法に関するリーフレットを配布しました。

たちーらんど(栄スポーツセンター)、図書館、区役所のトイレにおいて、大腸がんやがん検診に関する内容等が印刷されたトイレトペーパーを活用して啓発を実施しました。

栄図書館や区役所において、がんやがん検診に関するパネルを展示しました。

### 【実績】

- ・3歳児健康診査での啓発(月2回、計24回、延べ851人)
- ・区民まつりでの啓発(11月5日、300人)
- ・乳がん検診区役所会場での啓発(14回)
- ・大腸がん検診啓発トイレトペーパーを活用した啓発(3施設、9月)
- ・パネル展示(栄図書館9月1～30日、区役所10月3～7日)

### 個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
215 千円	214 千円

### 区配予算

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

29年度も引き続き実施します。

## 泉区

### 73 がん検診啓発事業

#### 【事業内容】

3歳児健康診査に来所した保護者に対し、乳がん自己触診法体験及び乳がん・子宮がん検診の啓発を行うとともに、食生活改善や禁煙等の生活習慣改善相談を実施しました。また、区民まつりや区制30周年記念イベントなどで、がん予防やがん検診受診の啓発を行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
577 千円	573 千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
80 千円	80 千円

#### 【実績】

- ・乳がん自己触診法体験(24回、1,124人)
- ・がん検診受診啓発リーフレットの配布(58回、延べ2,789人)
- ・区制30周年記念「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」での啓発(7月28日、参加者1,650人)
- ・泉区民ふれあいまつり(11月3日、リーフレット等配布600人)

#### 【29年度以降の対応】

働き、子育て世代から高齢者を対象に地域のイベントや区民まつりで各種がん検診の啓発及び乳幼児健康診査時に乳がん・子宮がん検診の啓発を実施していきます。

### 74 生活習慣改善啓発事業

#### 【事業内容】

世界禁煙デー、食育月間事業、歯と口の健康週間事業と連携したイベントの中で、喫煙・受動喫煙の害及び禁煙の効果などのパネル展示やリーフレット配布による啓発を実施しました。また、イベントの中で肺年齢測定を行い、禁煙の必要性についての考えるきっかけづくりを行いました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
266 千円	218 千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
130 千円	130 千円

#### 【実績】

- ・みんなの健康アップ！フェスティバル(6月2日、来場者328人、肺年齢測定32人)
- ・地域福祉保健計画推進イベント(2月22日、来場者250人)

#### 【29年度以降の対応】

生活習慣改善を目的とした健康づくりイベント等において、がん予防やがん検診の受診勧奨を進めていきます。

### 75 禁煙及び慢性閉塞性肺疾患(COPD)啓発

#### 【事業内容】

区役所や地域で実施する事業の中で、パネル展示やリーフレット配布により広く啓発し、慢性閉塞性肺疾患(COPD)についての理解度を深めてもらいました。また、小学校において喫煙予防教室を実施しました。

個性ある区づくり推進費

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

区配予算

H28 予算額	H28 決算額
200 千円	200 千円

#### 【実績】

- ・区役所、地域での事業(30回、1,604人)
- ・小学校への喫煙予防教室(2校、260人)

## 瀬谷区

<b>76</b>	<b>がん検診の受診案内</b>		
<b>【事業内容】</b> 区民まつり・健康フェアなど区民が多く集まる機会を捉え、がんに関するパネル展示や乳がん自己触診法体験を実施しました。また、4か月児健康診査に来所した保護者に向け、乳がん自己触診法体験や子宮頸がん検診受診啓発を行いました。		個性ある区づくり推進費	
		H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
<b>【実績】</b> ・乳幼児健康診査における乳がん自己触診法体験(全 24 回、延べ 369 人) ・肺がん検診でのがん検診受診継続啓発(全8回、延べ 271 人) ・がんに関するパネル展示、がん予防・早期発見のための啓発、検診受診の勧奨(全 17 回、延べ 3,500 人)		区配予算	
		H28 予算額 2 千円	H28 決算額 2 千円
<b>77</b>	<b>たばこ対策事業</b>		
<b>【事業内容】</b> 世界禁煙デーパネル展をはじめ、区内各種イベント等においてチラシの配布、呼気中一酸化炭素濃度測定などを通じ、たばこの害について広く区民に啓発しました。また、喫煙者の禁煙相談を実施し、禁煙に関する情報提供を行いました。		個性ある区づくり推進費	
		H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
<b>【実績】</b> ・区内各種イベント等での啓発(全 62 回、延べ 2,079 人) ・禁煙相談(通年、延べ 15 人) ・世界禁煙デー(5月 23～31 日、来場者 1,000 人、チラシ・啓発ティッシュ配布 300 枚)		区配予算	
		H28 予算額 70 千円	H28 決算額 70 千円
<b>78</b>	<b>健康せや推進事業</b>		
<b>【事業内容】</b> 瀬谷区からだまるごと健康フェアや瀬谷フェスティバルなどの各種イベント時にパネル展示・パンフレット配布・啓発資料等配布を行い、また、区役所各事業や出前講座など区民が多く集まる機会を捉えて、がんに関する健康教育講座を行い、がん予防・早期発見のための啓発、検診受診の勧奨に取り組みました。		個性ある区づくり推進費	
		H28 予算額 185 千円	H28 決算額 800 千円
<b>【実績】</b> ・瀬谷区からだまるごと健康フェア(6月5日、来場者 4,667 人) パネル展示、パンフレット・啓発ティッシュ配布など ・瀬谷フェスティバル(10月 25 日、来場者 4,375 人) パネル展示、パンフレット・啓発ティッシュ配布、乳がん自己触診法体験など ・かんたんな健康測定(毎月第3金曜日、延べ 122 人) ・特定健康診査受診勧奨とあわせてがん検診受診啓発案内を発送(21,370 通) ・がん予防啓発出前講座(2回、53 人) ・乳幼児健康診査及び両親教室参加者へのがん予防啓発(延べ 474 人) ・広報よこはま瀬谷区版9月号にがん検診受診啓発記事を掲載 ・がん征圧月間での啓発、受診結果持参者限定の骨密度測定イベント・パネル展開催(9月 12 日、16 人) ・胃がん講演会の開催(1月 26 日、55 人) ・がん検診受診結果持参者限定用トートバッグ製作(2,000個) ・3歳児健康診査案内発送時に横浜市がん検診受診勧奨チラシを同封(1,000 部)		区配予算	
		H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
		<b>【29 年度以降の対応】</b> がん早期発見のための啓発、がん検診受診勧奨を継続して実施していきます。	

# 総務局

## 79 職員を対象とした相談・啓発事業

### 【事業内容】

- ・がん啓発研修を開催しました。(水道局との共催事業)
- ・喫煙対策として、次のことを実施しました。
  - ① 健康診断の事後指導
  - ② 禁煙相談会
  - ③ 世界禁煙デーに合わせた庁内放送での啓発
  - ④ 喫煙率の高い職場への出張禁煙講座
  - ⑤ イン트라ネットや各種研修等の機会を活用した情報提供

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

がんを含む生活習慣病対策の取組として、実施予定

### 【実績】

- ・乳がん啓発研修会(9月14日、参加者88人)  
(内訳:市長部局67人、水道局12人、交通局9人)
- ・禁煙相談会(5回)
- ・出張禁煙講座(1事業所2回、参加者44人)

## 80 職員定期健康診断(生活習慣病総合健診)

### 【事業内容】

本市職員を対象とする定期健康診断のうち、40歳以上の一定年齢に該当する職員を対象に実施する「生活習慣病総合健診」において、希望者を対象に検査を実施しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

同内容で事業の継続

### 【実績】

- ・胃がん及び大腸がんに係る検査  
検査内容:胃部エックス線検査(間接撮影)、便潜血反応検査  
対象年齢:40、42、44、46、48、50、52、54、56、58、59、61、63歳

## 国際局

### 81 JICA「セルビア国乳がん早期発見プログラム改善プロジェクト」への協力

#### 【事業内容】

包括連携協定を締結している独立行政法人国際協力機構（JICA）が27年より実施している「セルビア国『国家乳がん早期発見プログラム改善プロジェクト』」の実施に協力しています。

このプロジェクトは、セルビア共和国で課題となっている乳がんの早期発見や、がん治療に必要な人材育成を実現するため、JICAが同国政府とともに行うものです。

横浜におけるがん検診や治療の取組を紹介し、同国政府による政策立案の参考とするため、健康福祉局、医療局及び横浜市立大学と連携して受入研修などを行うものです。

#### 【実績】

JICAからの要請により、7月にセルビア共和国の行政官、医療関係者からなる研修員8人を受け入れ、健康福祉局、医療局、横浜市立大学、市内医療機関の協力により講義・視察等を実施しました。

局・事業本部事業

H28 予算額 千円	H28 決算額 千円

#### 【29年度以降の対応】

29年6月にセルビアの医療関係者からなる研修団が訪日し、日本の乳がん対策について学びます。28年度に引き続き、横浜市立大学等とともに、研修・視察の受入に協力します。

## 文化観光局

### 82 MICE次世代育成事業

**【事業内容】**

第54回日本癌治療学会学術集会在本市で開催されたことから、次世代育成事業として日本癌治療学会と共催し、がんとがん治療に興味を持ってもらい、がんをめぐるより良い社会環境の創生につなげるきっかけとすることを目的として、市内在住・在学の小・中学生を対象としたセミナーを開催しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
500 千円	500 千円

**【29年度以降の対応】**

今後、がん関連の会議が開催される際に、実施に向けて検討していく予定です。

**【実績】**

・がんジュニアセミナーin横浜(10月22日、参加者16人)

### 83 クラシック・ヨコハマ推進事業

**【事業内容】**

全日本学生音楽コンクール全国大会in横浜の開催に合わせて実施している音楽イベント「クラシック・ヨコハマ」の一環として、毎日新聞社が主催する、小児がん征圧キャンペーン「生きる」コンサートを実施しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【29年度以降の対応】**

引き続き、連携して実施していく予定です。

**【実績】**

・生きる～2017 New Year 若い命を支えるコンサート  
(1月15日、来場者約1,800人)

## 経済局

### 84 国際戦略総合特区推進事業(うち、がん関連の取組)

#### 【事業内容】

「革新的な医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出」を目指し、企業や研究機関による先端的な研究開発案件を対象に、総合特区の支援策獲得に向けた国との協議や、本市独自の助成などによる支援を行いました。このうち、がん対策関係の取組としては、継続的に支援をしているバイオベンチャーによる新規抗がん剤開発が第Ⅰ相臨床試験を完了し、国内外の製薬会社とのパートナーリングを進めていくこととなりました。また、横浜市立大学と企業が開発を進めてきたがんリスク評価法の精度向上のための研究に対し、研究費を助成しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
100,000 千円	76,101 千円

#### 【29年度以降の対応】

引き続き、がん対策に資する研究開発も含め、市内企業等のライフサイエンス関連の取組について、総合特区制度を活用し、支援します。

#### 【実績】

- ・新規抗がん剤の臨床試験(第Ⅰ相)の完了
- ・がん関連の研究開発に対する助成(1件)

### 85 がん患者専用労働相談

#### 【事業内容】

がんを治療している方や、治療後も就労に関して不安を抱えている方への支援として27年9月より「横浜しごと支援センター」内にがん患者専用相談窓口を設置し、労働相談を実施しています。また、企業の人事・労務担当者向けにセミナーを実施し、仕事と治療の両立を支援しています。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
200 千円	161 千円

#### 【29年度以降の対応】

今後も事業を継続し、働く人の仕事と治療の両立を支援してまいります。

#### 【実績】

- ・横浜しごと支援センター内でのがん患者労働相談(毎月第4金曜日、延べ14人)
- ・労働実務セミナー「がん患者の仕事と治療の両立支援について～企業が両立のためにできること～」の実施(11月17日、参加者10人)
- ・相談窓口の周知チラシ配布  
配布先: 区役所・行政サービスコーナー・図書館、横浜しごと支援センター、市内がん診療連携拠点病院等、市内ハローワーク



## こども青少年局

### 86 横浜市妊婦健康診査事業

#### 【事業内容】

妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査に必要な経費を助成することにより、安心して妊娠、出産ができる体制を確保しました。

妊娠の届出をした妊婦に対して、14回分の妊婦健康診査費用補助券を交付し、受診を促しました。（補助券：4,700円×11回、7,000円×1回、12,000円×2回 合計82,700円）

妊婦健康診査を横浜市医師会及び市外医療機関に委託し、実施しました。

「子宮頸がん検診（細胞診）」を妊婦健康診査費用の助成対象検査としています。

また、母子健康手帳の交付時に横浜市子宮がん検診実施医療機関で利用していただける妊婦への横浜市子宮頸がん検診（細胞診）無料クーポン券を配布しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
2,462,626 千円	2,326,644 千円

#### 【29年度以降の対応】

今後も妊婦健康診査費用の助成対象検査として、「子宮頸がん検診（細胞診）」を実施できるようにしていきます。また、引き続き母子健康手帳の交付時に、妊婦への横浜市子宮頸がん検診（細胞診）無料クーポン券を配布していきます。

#### 【実績】

- ・28年度妊娠届出者数（妊婦健康診査費用補助券交付者数） 32,171 人
- ・妊婦健康診査費用補助券利用者受診総数 357,955 人
- ・妊婦の子宮頸がん検診クーポン券利用数 18,764 人

## 健康福祉局

### 87 「健診へ行こう！」リーフレット作成及び配布

【事業内容】

各区の保健活動推進員が特定健康診査・特定保健指導、横浜市健康診査及びがん検診の制度や利用方法等を地域における健康づくり活動等で啓発する目的で、リーフレットを作成しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
553 千円	313 千円

【実績】

・41,500 枚作成し、各区へ配布

【29 年度以降の対応】

特定健康診査及びがん検診の受診率向上のため、引き続き取り組んでいきます。

### 88 検診実施機関一覧表の作成及び配布

【事業内容】

5月下旬の特定健康診査の受診券一斉交付において、特定健康診査だけでなく、がん検診も受診できる実施機関一覧表を作成・封入し、対象者へ送付しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
2,828 千円	2,266 千円

【実績】

28 年度送付対象者数 約 57 万人

【29 年度以降の対応】

特定健康診査及びがん検診の受診率向上のため、引き続き取り組んでいきます。

### 89 小児慢性特定疾病医療給付事業

【事業内容】

児童福祉法に基づいた小児慢性特定疾病のうち、小児がん、慢性腎炎など特定疾病の治療の確立と普及を図り、あわせて患者家族の負担軽減にも資するため医療費自己負担分の一部を補助するとともに福祉サービスにおける支援を行いました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
668,138 千円	717,941 千円

対象疾病は、14 疾患群 704 疾病。このうち小児がんに分類する悪性新生物は、91 疾病です。

【29 年度以降の対応】

今後も事業を継続していきます。

【実績】

・悪性新生物の認定者 625 人

## 90 定期予防接種事業(うち子宮頸がん予防ワクチン、B型肝炎ワクチン関連)

### 【事業内容】

子宮頸がん予防ワクチンを定期接種として接種希望者に接種しました。  
B型肝炎ワクチンを定期接種として個別に勧奨し、接種を行いました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
489,025 千円	262,525 千円

### 【実績】

- ・子宮頸がん予防ワクチンの定期接種(116件、4月1日～3月31日)
- ・B型肝炎ワクチンの定期接種(45,466件、10月1日～3月31日)
- ※10月から定期接種になりました。

### 【29年度以降の対応】

25年6月14日の厚生労働省の勧告に基づき、子宮頸がん予防ワクチンの接種を積極的にはお勧めしていません。

接種後に症状が生じた方に対する相談窓口を継続していきます。

## 91 がん検診事業

### 【事業内容】

がんの早期発見・早期治療を促進するため、実施医療機関及び区福祉保健センター等でがん検診を実施しました。

受診率向上に向けて、個別通知による受診勧奨や、ピンクリボンかながわと連携し、横浜消防出初式に参加するなど、関係団体等民間の力を活用し、広く市民に向けがんの早期発見の重要性を周知しました。

内視鏡による胃がん検診を正式事業化し、医師会と連携し安全かつ適正に運営するため読影管理委員会を設置しました。

精密検査結果等の把握を行い、検診精度管理の維持・向上を図りました。  
妊婦の方は、子宮頸がんのり患率が高まる年齢の方と重なることから、母子健康手帳の交付に合わせて無料クーポン券を交付し、新たに子宮頸がん予防策を実施しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
4,283,810 千円	3,907,029 千円

### 【29年度以降の対応】

内視鏡による胃がん検診を開始する医療機関を増加させ、受診機会の拡充を図ります。

効果的な子宮頸がん予防策の充実に向け、妊婦を対象に母子健康手帳の交付にあわせて、無料クーポン券を交付する事業を継続します。

### 【実績】

- ・がん検診受診者数(胃・肺・大腸・子宮・乳・PSA、538,601人)
- ・個別通知等の送付(約200万人)
- ・横浜消防出初式(80,000人)
- ・内視鏡による胃がん検診の受診者(10,169人)
- ・精密検査未受診者の把握及び受診勧奨対象者(4,012人)

## 92 健康横浜21推進事業(禁煙)

### 【事業内容】

小・中・高校生、大学生など未成年者への喫煙防止教育、喫煙をやめたい人がやめられるようなサポート体制の構築、「よこはま健康応援団」の推進などの受動喫煙を受けない環境づくり等の喫煙防止対策を進めました。

各種イベントや市庁舎等で、パネルの展示・パンフレットの配布、呼気中一酸化炭素濃度、肺年齢の測定を行い、がんの予防啓発を行いました。

ライフステージに合わせた禁煙・喫煙防止啓発リーフレットを作成し、配布しました。

禁煙を支援する薬局に対し、薬剤師会と共催で研修会を開催しました。

九都県市受動喫煙防止キャンペーンで、ポスターを作成し、関係機関に配布し、啓発を行いました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
2,526 千円	1,667 千円

### 【29年度以降の対応】

今後も事業を継続していきます。

### 【実績】

- ・歯と口の健康週間(中央行事)
- ・ライフステージ別禁煙・喫煙防止啓発リーフレットの作成・配布
- ・禁煙支援薬局研修の開催
- ・九都県市受動喫煙防止キャンペーンポスター作成・配布
- ・店内終日禁煙店の推進・世界禁煙デーポスターの配布

**93 骨髄移植普及及び啓発事業等****【事業内容】**

白血病・再生不良性貧血等の難病患者に有効な治療法である骨髄移植の普及推進・啓発事業として、骨髄ドナー登録会などを実施するほか、献血や腎・アイバンク事業の支援等を行いました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
308 千円	221 千円

**【実績】**

- ・ドナー登録会(献血併行型)の実施(年6回、登録者 55 人)
- ・グリーンリボン(移植医療)の普及啓発を目的とした「グリーンライトアッププロジェクト」への後援
- ・かながわ健康財団実施の神奈川県腎・アイバンク事業に対する助成
- ・市庁舎献血(年4回)や献血キャンペーンの協力

**【29 年度以降の対応】**

今後も事業を継続していきます。

# 医療局

<b>94</b>	<b>総合的ながん対策推進事業(がんに係る医療の充実)</b>	局・事業本部事業				
<b>【事業内容】</b> 「横浜市小児がん連携病院」では、診療連携の円滑化による診療の充実及び関係職種の研修による相談の充実、情報提供や相談支援を充実、実態調査への協力による今後の検討に取り組むため、各種支援を行いました。 また、市内の都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、神奈川県がん診療連携指定病院及び小児がん拠点病院の職員による意見交換会を開催し、病院間での連携を図り、今後の課題整理等を行いました。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">H28 予算額</td> <td style="width: 50%;">H28 決算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3,580 千円</td> <td style="text-align: center;">1,233 千円</td> </tr> </table>	H28 予算額	H28 決算額	3,580 千円	1,233 千円
H28 予算額	H28 決算額					
3,580 千円	1,233 千円					
<b>【実績】</b> ・小児がん連携病院会議開催(8・3月) ・小児がん実態調査(調査期間 28 年1～12 月) ・がん診療連携拠点病院等による意見交換会開催(3月 14 日、出席者 12 病院 16 人)		<b>【29 年度以降の対応】</b> 小児がん連携病院間の連携強化や研修実施に資するよう、事業継続するほか、新たに小児がん患者や家族等ががん患者がいる子供へのサポートを進めます。 また、がん診療連携拠点病院等の連携への支援も継続して実施します。				

<b>95</b>	<b>総合的ながん対策推進事業(仕事と治療の両立支援)</b>	局・事業本部事業				
<b>【事業内容】</b> がん診療連携拠点病院等のがん相談支援センター及び経済局所管施設である横浜しごと支援センター等へ社会保険労務士を派遣し、がん患者からの相談に対応するほか、がん診療連携拠点病院等の職員に対する研修へ講師として社会保険労務士の派遣を行い、がん患者の就労支援の必要性への理解向上につなげました。 また、事業所においてがん患者が働きやすい環境づくりを進めるための啓発物品として、研修等に使用できる資料等を作成しました。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">H28 予算額</td> <td style="width: 50%;">H28 決算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12,155 千円</td> <td style="text-align: center;">8,969 千円</td> </tr> </table>	H28 予算額	H28 決算額	12,155 千円	8,969 千円
H28 予算額	H28 決算額					
12,155 千円	8,969 千円					
<b>【実績】</b> ・定期就労相談への派遣(通年、27 回) ・随時就労相談への派遣(4・6・9～3月、14 回) ・病院職員向け研修への派遣(7・11 月、2回) ・啓発物品(DVD1,000 枚、リーフレット 5,000 部、ポスター12,000 枚)		<b>【29 年度以降の対応】</b> 29 年度よりがん診療連携拠点病院への派遣は神奈川県事業、横浜しごと支援センターへの派遣は経済局事業となります。 また、がん患者の仕事と治療の両立支援について、事業所向けに啓発を行います。				

<b>96</b>	<b>総合的ながん対策推進事業(ピアサポート推進のための支援)</b>	局・事業本部事業				
<b>【事業内容】</b> がん患者やその家族の相談(ピアサポート)に応じるピアサポーターを養成するための講習会を実施しました。 また、がん患者及びその家族ががん経験者等に不安や悩みを相談できる場の増加を図るために、ピアサポーターによる相談事業を実施する市内病院の活動を支援しました。 《ピアサポーター》 がんの正しい知識と対話スキルを身に付け、患者や家族の心をサポートするがん経験者またはがん経験者の家族		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">H28 予算額</td> <td style="width: 50%;">H28 決算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,700 千円</td> <td style="text-align: center;">766 千円</td> </tr> </table>	H28 予算額	H28 決算額	1,700 千円	766 千円
H28 予算額	H28 決算額					
1,700 千円	766 千円					
<b>【実績】</b> ・ピアサポーター養成講習会(3月 30 日、30 人) ・ピアサポーターによる相談事業への補助(3病院)		<b>【29 年度以降の対応】</b> 今後も引き続き、市内におけるがん患者によるピアサポートが推進されるよう事業を継続して実施します				

**97 総合的ながん対策推進事業(アピランス(外見)に関するケアへの支援)****【事業内容】**

抗がん剤の副作用等、がんの治療に伴う頭髪の脱毛に悩むがん患者の社会参加や就労継続を支援するため、28年度新たにウィッグや帽子等の購入経費の一部補助を開始しました。

また、医療機関でのアピランスケアの重要性や患者支援の方法についての浸透を図るため、がん診療連携拠点病院等の医師及び看護師向け講習会を開催しました。

さらに、がん患者のアピランスケアに取り組むがん診療連携拠点病院等に経費の一部を補助するモデル事業を開始しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
13,600 千円	10,328 千円

**【29年度以降の対応】**

がん患者及びがん診療連携拠点病院等への支援を引き続き行い、アピランスケアの普及・浸透のための取組をさらに進めます。

**【実績】**

- ・がん患者へのウィッグ購入経費等補助(1,006件)
- ・がん診療連携拠点病院等向け講習会(3月14日、出席者12病院16人)
- ・アピランス支援モデル事業への補助(1件)

**98 総合的ながん対策推進事業(若年者の在宅療養に関する支援)****【事業内容】**

小児慢性特定疾病医療費助成や介護保険の対象とならない20～39歳のがん末期患者の在宅生活を支援するために、在宅療養の際に利用する訪問介護や福祉用具貸与のサービスにかかる経費の一部補助を新たに開始しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
7,200 千円	200 千円

**【29年度以降の対応】**

今後も引き続き、市内における20～39歳のがん末期患者の在宅生活を支援するために、事業を実施します。

**【実績】**

- ・若年者の在宅ターミナルケア支援のための補助(交付6人)

**99 総合的ながん対策推進事業(NPO法人が行うがんに関する活動の支援)****【事業内容】**

がん患者等関係団体のうち特定非営利活動法人が行う、市民のがんに対する理解を深める事業やがんに関わる人材育成事業等に対して、事業実施に必要な経費の一部を補助することにより、がん患者及びその家族への支援を行いました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
400 千円	200 千円

**【29年度以降の対応】**

がん患者等関係団体への支援を継続していきます。

**【実績】**

- ・NPO法人が行うがん関連事業補助(12月～2月、2件)

**100 総合的ながん対策推進事業(緩和ケアに関する市民啓発)****【事業内容】**

がん患者の身体的又は精神的な苦痛、社会生活上の不安等を軽減する緩和医療について、市民啓発の一環として、がんの疼痛緩和をテーマとした市民公開講座及び講演会を開催し、緩和ケアの充実に向け、市民意識の向上を図りました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
35,161 千円	13 千円

**【29年度以降の対応】**

緩和ケア病床の整備及び緩和ケアへの理解が進むよう、引き続き実施していきます。

**【実績】**

・市民公開講座及び講演会(11月20日、来場者100人)

**101 総合的ながん対策推進事業(医療従事者の育成及び確保)****【事業内容】**

がん患者に対する診療体制の充実と医療の質の向上を目的に、専門看護師、認定看護師及び認定薬剤師等の養成のための人材教育経費を負担する市内医療機関等に対し、その経費の一部を補助することで、医療機関のがん治療に専門性を持つ医療従事者の育成を支援しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
5,000 千円	2,539 千円

**【29年度以降の対応】**

引き続き、市内医療機関においてがん治療に専門性を持つ医療従事者の育成を行われるよう、事業を実施していきます。

**【実績】**

・横浜市専門看護師等資格取得助成事業補助(9人)

**102 総合的ながん対策推進事業(情報提供等)****【事業内容】**

「横浜市がん対策推進キャンペーン」として市営地下鉄での貸切広告列車や市営バスのパートラッピングバスの運行、みなとみらい駅での大型広告掲出、市内有名スポットでのライトアップを行い、期間集中的な市民啓発を実施したほか、各区区民まつり等イベントでの啓発物品の配布を行い、広く市民に向けて、がんに関する正しい知識の啓発、予防策の周知、がん検診への意識向上等を図りました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
17,205 千円	7,639 千円

**【29年度以降の対応】**

市民のがん対策への意識向上のために、新たな手法も検討しつつ、引き続き市民への広報を行っていきます。

また、保健医療関係団体が行う市民のがんに対する理解を深める事業等に対して補助を行いました。

がん相談支援センター及び小児がん相談窓口について、紹介パンフレットを作成し、相談先の周知を進めました。

**【実績】**

- ・「横浜市がん対策推進キャンペーン」での集中広報(10月)
- ・啓発物品の作成・配布(20,000個)
- ・「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016」でのPR(10月・11月)
- ・保健医療関係団体が行うがん対策関連事業への補助(2件)
- ・がん相談支援センター等相談窓口紹介パンフレット作成・配布(2,500部)

### 103 総合的ながん対策推進事業(情報の収集)

#### 【事業内容】

がん対策に関する調査として、死亡率・罹患率や医療提供・相談支援の状況について、既存の各種統計調査やがん診療連携拠点病院現況報告書から統計データを収集し、現状の把握を行いました。

また、患者、患者家族及び事業者を対象として、がん患者の就労に関するアンケート調査を実施しました。

横浜地域のがんに関する医療実態の把握を目的にNDBデータの提供申し出を行い、国から承諾を得てデータを受領しました。NDBデータの分析は横浜市立大学の臨床統計学教室と連携協定を締結し、分析を進めています。

《NDB(ナショナルデータベース)》

全国のレセプトデータ等を一元化して国が保有するデータベース

#### 【実績】

- ・患者向け調査(718件)、家族向け調査(507件)、事業所向け調査(454件)
- ・レセプト情報等の提供に関する承諾(7月27日)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
2,899 千円	4,283 千円

【29年度以降の対応】

今後も引き続き、情報の収集を実施します。

### 104 総合的ながん対策推進事業(がん研究の推進)

#### 【事業内容】

横浜市立大学における高度で先進的ながん対策に係る研究の研究費等の一部を補助することにより、市内におけるがん対策に係る研究の推進を支援しました。

#### 【実績】

- ・横浜市がん研究推進補助(1件)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
50,000 千円	50,000 千円

【29年度以降の対応】

今後も引き続き、市内におけるがん治療への先端研究が推進されるよう事業を実施します。



# 市立市民病院

## 105 がん検診

### 【事業内容】

横浜市がん検診(胃、肺、大腸、子宮、乳、前立腺)と病院独自のオプション検診(喉頭・咽頭、肝胆膵、婦人科超音波(卵巣)、口腔、前立腺(40~49歳)、肺ヘリカルCT、PET-CT)の13項目の検診を行い、検診項目ごとに受診が出来ます。なお、これまでインターネットではセット項目のみの予約受付でしたが、利用者の利便性を高めるため、個別項目の予約受付も開始しました。

要精密検査とされた方への二次検診や経過観察を行っています。がんが発見された場合は、速やかに市民病院での診断、治療を行うことができます。

受診しやすい環境を整備するため、がん検診受診者を対象とした預かり保育を実施しています。

### 【実績】

・一次検診実績(延べ患者数)

肺がん 3,772人、胃がん 2,665人、大腸がん 3,636人、乳がん 3,172人、子宮がん 3,589人、前立腺がん 1,567人、その他 8,058人

・がん発見者数(72人)

・預かり保育利用者(4人)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

新検査項目(骨密度検査、胃がんリスク検診)の実施に向け準備を進めます。

若年層の検診受診者増加に向け、働く世代や大学生等への働きかけを強化します。

## 106 集学的治療・高度医療の充実

### 【事業内容】

「婦人科内視鏡手術センター」を設置し、婦人科内視鏡の専門医による婦人科がんの治療に力を入れるほか、他の部位でも身体の負担の少ない腹腔鏡や胸腔鏡による手術を実施しています。

安全な化学療法の実施に向け、医師、看護師、薬剤師等による「化学療法サポートチーム」を編成し、定期的な回診を実施するとともに、個々の医師、看護師へのサポートを行っています。

IMRTの施設基準を取得し、4月より前立腺がんでの保険適用を開始しています。

### 【実績】

・がんに対する胸腔鏡・腹腔鏡使用手術の件数(360件)

・外来化学療法実績(5,304件)

・前立腺がんに対するIMRT実施件数(1,056件)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

今後も、より高度で安全な腹腔鏡手術、胸腔鏡手術に積極的に取り組んでいきます。

## 107 がん地域連携クリティカルパスの運用

### 【事業内容】

手術や放射線治療等の専門的ながん治療を終えたがん患者を、地域医療機関と共同して診察するために、病院と地域医療機関が診療計画や治療経過などを共有する「がん地域連携クリティカルパス」を運用しています。

### 【実績】

〔連携医療機関数(3月31日現在)〕

乳がん(20医療機関)、肺がん(6医療機関)、胃がん(13医療機関)、大腸がん(9医療機関)、肝がん(14医療機関)、前立腺がん(19医療機関)

〔連携実績〕

乳がん(42件)、胃がん(5件)、前立腺がん(15件)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

ホームページやパンフレット等により、具体的な医療連携体制について周知します。

地域連携クリティカルパス適用件数だけでなく、対象症例及び連携医療機関の拡大を図ります。

## 108 がん患者相談支援事業

### 【事業内容】

がん相談支援センターにおいて、がんの治療や療養生活、患者さんの不安などに関する相談に応じるとともに、セカンドオピニオン外来では、当院の専門医師が、病状に関して参考となる意見や判断を提供し、患者さんご自身が診断や治療について納得して判断されるための支援を行っています。

院内医師・医療従事者向けに「がん患者の就労支援に向けた取組」と題した研修を実施し、就労支援に対する理解を深めました。

1月より、「ピアサポート」を開始し、がんを体験されたピアサポーターが患者さんの気持ちに寄り添った相談対応を実施しています。

### 【実績】

- ・がん相談支援センターにおける相談実績(1,262件)
- ・セカンドオピニオン外来におけるがんのセカンドオピニオン(29件)
- ・就労相談件数(151件)
- ・就職支援ナビゲーター出張相談件数(4件)
- ・社会保険労務士による就労相談件数(16件)
- ・ピアサポーターによる相談件数(11件)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

社会保険労務士やハローワーク横浜と連携して、がん患者さんの就労に関して総合的に支援していきます。

新病院での実施に向けて、がんサロン設置の検討、準備を進めます。

## 109 緩和ケアの充実

### 【事業内容】

緩和ケア内科の医師を中心に、他の科の医師や認定看護師、薬剤師、管理栄養士からなる「緩和ケアチーム」が、病棟回診を毎週行う等、主治医と協力しながら診療に当たっています。

苦痛緩和に関する相談を目的とした外来を設置し、様々な苦痛に対する早期スクリーニングに努めています。

がん治療の初期段階から緩和ケアを提供する為の基礎知識の習得を目的とした「緩和ケア研修会」を開催し、当院職員だけでなく、地域の医療従事者の受講も受け入れています。

### 【実績】

- ・緩和ケア病棟入院患者数(6,701人)
- ・緩和ケア病棟平均在院日数(23.6日)
- ・緩和ケア研修会受講者数(医師33人、医療従事者24人)
- ・緩和ケア研修会 研修終了率(がん関連診療科の医師) 90.2%
- ・緩和ケアチームへの依頼件数(延べ637件)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

がん対策基本計画では、地域がん診療連携拠点病院のがん診療に携わる全ての医師が緩和ケア研修を受講することが目標とされているため、当院としても29年度までのがん診療に携わる医師の緩和ケア受講率を100%とすることを目標に、研修会の開催、受講勧奨を行っていきます。

## 110 医療従事者の育成確保

### 【事業内容】

がん性疼痛看護認定看護師を、緩和ケアチームの専従看護師として配置し、がん患者からの苦痛の緩和に関する相談等に対応しています。

外来化学療法室に、専従のがん化学療法看護師を配置し、安全な化学療法の実施に努めています。

院内職員向けに、症状の共有・検討を行う場として、キャンサーボード・ミニキャンサーボードを毎月開催するほか、地域医療機関を対象に、がん診療や抗がん剤などについての知識の習得、最新情報の共有化を目的としたがんに関する研修会を開催しています。

### 【実績】

- ・キャンサーボード、ミニキャンサーボードの実施回数(17回)
- ・院内における、がんに関する研修会参加者数(225人)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

27年度からがんセンターとして、がん疾患に対する集学的な医療機能を充実させるために必要となる体制について検討を進め、体制強化に引き続き努めていきます。

## 111 院内がん登録

### 【事業内容】

国が定めた登録様式・定義に従い、がん登録実務者(国立がん研究センターの研修を修了している診療情報管理士等)が診療登録等の情報をもとに「院内がん登録」を実施しています。

28年度は、2015年症例として、27年1月1日から12月31日までの1年間に、当院で診断または他施設で既に診断され、当院に初診したがん患者に関する院内がん登録業務実績報告書をまとめたほか、23年院内がん登録症例の3年目及び、20年症例の5年目の追跡調査を行いました。

### 【実績】

・全登録件数(1,889件)

胃(163件)、大腸(338件)、肝(48件)、肺(279件)、乳房(168件)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

全国がん登録のオンライン提出構想に対応するため、院内環境の整備を進めていきます。

## 112 がんに関する治験・研究の推進

### 【事業内容】

厚生労働省がん研究班をはじめ、複数のがん研究に参加するほか、日本医療研究開発機構の研究課題に採択され、がんに対する治療の確立に向けた研究を進める等、国立がん研究センターをはじめとする各種研究機関、他病院との緊密な連携を図り、新しい治療の開発や承認前の新薬の治療を実施しました。

### 【実績】

・がん関連臨床試験新規実施件数(47件) うち医師主導臨床研究(28件)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

治験・臨床試験の実施体制を充実させていきます。

市大附属病院が中心となって発足する「横浜臨床研究ネットワーク」を活用した治験・臨床試験も実施していきます。

## 113 がん検診・がん診療に関する情報発信

### 【事業内容】

前立腺がんやがん検診に関する正しい理解や早期発見の重要性について普及啓発を図るため、医師・看護師等による前立腺がんに関する市民公開講座を開催しました。

「がんを生きる」と題した講演を実施し、タレントによるがんの治療をのりこえた経験談や、肺がん・腎臓がん・大腸がんの最新治療の講演を行い、がんになっても治療を受けて暮らし続けられることを伝えました。

保土ヶ谷区、西区の区民まつりに参加したほか、保土ヶ谷区主催の講演会等で、がん検診や乳がん自己触診法の重要性について啓発しました。

### 【実績】

・前立腺がん啓発週間 市民公開講座(131人)

・市民公開講座「がんを生きる」の開催(290人)

・区民まつりへの参加(保土ヶ谷区・西区)(596人)

・保土ヶ谷区主催乳がん講演会での自己触診法講座の開催、検診の案内配布

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

引き続きがん検診や、がん治療に関する市民公開講座を開催するとともに、大学生を対象とした講演会を実施することにより、若年層に対する検診やがんに対する知識の普及啓発に努めます。

# 市立みなと赤十字病院

## 114 がん検診

### 【事業内容】

1日ドック、2日ドック、脳ドック、大腸ドック、肺ドック、レディースドック、PET-CTスーパーがんドックを実施しました。豊富なオプション検査と各コースを組み合わせ、1人ひとりのニーズに合わせた「オーダーメイドヘルスチェック」が可能となりました。

横浜市がん検診の全種類(胃・大腸・肺・子宮・乳・前立腺)を実施しました。

二次受診勧奨と追跡調査を強化することで、がん発見に努めました。

がん検診受診と早期発見・早期治療の重要性に対する啓発活動の1つとして、肝臓がんに関するみなと市民セミナーを開催しました。

横浜 Leaf 献血ルームの来訪者を対象にがん検診受診を呼びかけるキャンペーンを行いました。

### 【実績】

- ・横浜市がん検診(胃:X線 869件、内視鏡: 234件、肺: 1,385件、大腸: 1,476件、子宮: 461件、乳房: 801件、前立腺: 606件)
- ・がん発見者数(27年度受診者における二次受診調査結果 47人)

H28 予算額

H28 決算額

千円

千円

### 【29年度以降の対応】

今後もがん検診の受診勧奨と二次受診の調査を継続し、受診率アップに繋げていきます。

## 115 集学的治療・高度医療の充実

### 【事業内容】

がんの種類や進行度に応じて、手術療法、放射線治療、化学療法を組み合わせ、より高い治療効果を得るために「集学的治療」を行いました。

がんに対する胸腔鏡・腹腔鏡手術を積極的に実施しました。

病理診断請負事業を継続して実施しました。

がんに伴う症状や治療による副作用を軽減するための治療(支持療法)を促進しました。

### 【実績】

- ・外来化学療法件数(5,689件)
- ・ダ・ヴィンチによる手術件数(53件)
- ・病理診断請負件数(1つの臓器につき)(1,126件)
- ・PET-CT稼働件数(1,107件)

局・事業本部事業

H28 予算額

H28 決算額

千円

千円

### 【29年度以降の対応】

IMRTの設置を検討し、放射線治療専門医(IMRT経験者)・医学物理士などの人材の確保をします。

専門的スタッフの充実に向けて、人材(腫瘍内科医・ペインクリニック専門医・データマネージャー等)の確保をします。

## 116 がん地域連携クリティカルパスの運用

### 【事業内容】

病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線治療、化学療法又は緩和ケアの提供に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備しています。

### 【実績】

〔連携医療機関数(3月31日現在)〕

胃がん(54医療機関) 大腸がん(54医療機関) 乳がん(3医療機関) 前立腺がん(18医療機関)

〔連携実績〕

胃がん(28件) 大腸がん(25件) 乳がん(89件) 前立腺がん(1件)

局・事業本部事業

H28 予算額

H28 決算額

千円

千円

### 【29年度以降の対応】

神奈川県保健福祉局作成のパンフレット等を用いてがん地域連携クリティカルパスの普及啓発に努め、さらに連携を進めていきます。

## 117 がん患者相談支援事業

### 【事業内容】

患者やその家族を対象に、からだところのバランスを整えること、自分らしさを取り戻すことを目的に、からだのケアやミニレクチャーなどのプログラムを提供する「みなとサロン」を通じて支援に取り組みました。

乳がん患者会(ひまわりの会)(原則毎月第3木曜日開催)において、患者と家族、同じ体験をした仲間などが気楽に話し合えたり、不安、悩み、体験談などを語り合う場の無料提供を行いました。(通院歴が無い方も参加可能)

がんに関する様々な悩みや不安について、臨床心理士やがん専門看護師、認定看護師が相談を受ける「がん看護サポート外来」を実施しています。

### 【実績】

- ・「みなとサロン」がんサポートプログラム(全 11 回、参加者 158 人)
- ・がん相談支援センターにおける相談件数(2,155 件)
- ・がんのセカンドオピニオン件数(9件)
- ・就労支援相談件数(11 件)
- ・がん看護サポート外来件数(117 回、56 人)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

就労支援した患者に対するその後の進捗確認やフォローなど、フィードバックを得る体制を整備します。

## 118 緩和ケアの充実

### 【事業内容】

緩和ケア病棟(25 床)を運営し、その人らしさ、自己決定権を尊重した医療・看護を提供しています。

緩和ケア医師、精神科医師、認定看護師、薬剤師、歯科口腔外科医師、歯科衛生士、放射線科医師、ソーシャルワーカー、管理栄養士、理学療法士、臨床心理士などで構成された緩和ケアチームでは、主治医等と協力して患者さんの症状緩和を中心とした治療や支援を提供しました。

スタッフの基本的緩和ケアの知識の普及を目指し、緩和ケア研修会を開催しました。

### 【実績】

- ・苦痛のスクリーニング実施数(757 人)
- ・緩和ケア研修会(①7月9・10日、②11月26・27日、受講者 61 人)  
(医師 56 人、薬剤師 2 人、看護師 2 人、理学療法士 1 人)
- ・緩和ケア研修会 研修終了率(がん関連診療科の医師 94.3%)
- ・緩和ケア病棟延べ入院患者数(7,950 人)
- ・緩和ケア病棟平均在院日数(30.2 日)
- ・緩和ケアチームへの依頼件数(延べ 2,314 件)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

苦痛のスクリーニング対象を拡大し、すべての入院がん患者の苦痛の早期発見、軽減を目指します。

患者の希望に応じて、苦痛のある患者の早期入院や、在宅希望の患者のがん地域連携クリティカルパスを使った早期退院を実施します。

## 119 医療従事者の育成確保

### 【事業内容】

がん患者さんの症状や診断、治療方針について意見交換し検討するために、造血器腫瘍、消化管腫瘍、肝胆膵腫瘍、肺がん、乳がん、婦人科腫瘍、泌尿器腫瘍、脳腫瘍、頭頸部腫瘍、皮膚腫瘍などのがん診療連携協議会を定期的に開催し、最新の医学、エビデンスに基づき、患者さんに最善の治療方針の検討を行いました。

耳鼻咽喉科/頭頸部外科としてがん診療連携協議会の体制を整備しました。

地域のがん診療 11 施設で連携して講演会や勉強会を開催しました。

### 【実績】

- ・がん診療連携協議会の実施回数(331 回)
- ・国立がん研究センター主催の各研修会参加者数(延べ 11 人)
- ・緩和ケア講演会(1回、71 人)
- ・横浜みんなの緩和ケア勉強会(2回、参加者延べ 84 人)
- ・横浜(南)がんリハビリテーション病病連携会(1回、37 人)
- ・横浜・川崎がん病病連携会講演会(3回、参加者延べ 220 人)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

複数領域にまたがるがん症例の他施設・多職種によるがん診療連携協議会を共同開催(顔の見える連携のさらなる推進)します。

**120 院内がん登録****【事業内容】**

27年1月1日から12月31日までの1年間に悪性新生物及び脳の良性新生物と診断された症例1,653件について、「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 登録項目とその定義 2006年度版修正版」の定義に基づき登録・集計を行いました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

・全登録件数(1,653件)

胃(180件)、大腸(直腸及び結腸)(339件)、肝及び肝内胆管(56件)、気管支及び肺(166件)、乳房(233件)

**【29年度以降の対応】**

28年1月より全国のがん登録の新様式に対応しています。

**121 がんに関する治験・研究の推進****【事業内容】**

27年4月に臨床試験支援センターを開設し、臨床研究・臨床試験に職員が意欲的に取り組むことができるように、積極的なサポートを行っています。その体制のもと、がんに対する新しい治療、有効な治療についての研究を実施しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

・がん関連臨床試験新規実施件数(17件) うち医師主導臨床研究(13件)

**【29年度以降の対応】**

ペーパーレス化やIT化を進め、治験・臨床試験の実施体制を充実させていきます。

治験の実施率向上に向けての取組を検討します。

**122 がん検診・がん診療に関する情報発信****【事業内容】**

一般市民の方に、がんについて正しい知識を身につけていただくことを目的として、市民向けセミナーや市民公開講座を開催しました。

また、院内組織として「がんセンター」を設置しており、講演会や勉強会を開催するなど地域への情報発信を行いました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【実績】**

・第11回みなと市民セミナー「知らないで損！肝臓がんのお話」(9月22日、参加者256人)

・第2回横浜・川崎がん病病連携会市民公開講座(2月18日、参加者101人)

**【29年度以降の対応】**

引き続き、講演会等を実施し、市民の方にがんに関する情報を発信して正しい知識の普及に努めます。

# 水道局

## 123 ピンクリボンかながわとのコラボレーション

### 【事業内容】

ピンクリボンかながわからの水道局パートナーシップデスクへのコラボレーション申込みにより、お互いの強みを活かした取組を行いました。

- ・備蓄飲料水「横浜水缶」のピンクリボン缶の製造・販売・配布
- ・啓発チラシの作成・配布

(健康福祉局、ピンクリボンかながわ、水道局による共同制作)

- ・ピンクリボンかながわからの講師派遣による職員向けがん啓発研修の開催(総務局・交通局との共催)

### 【実績】

- ・備蓄飲料水「横浜水缶」のピンクリボン缶の製造・販売(144,000 缶)
- ・ピンクリボンかながわによる水缶の配布(ピンクリボンかながわネットワーク及び検診関連団体)(24 缶)
- ・啓発チラシの作成・配布(がん検診実施医療機関、保健活動推進員・食生活等改善推進員(ヘルスマイト)、神奈川県予防医学協会等)(約 16,000 枚)
- ・職員向けがん啓発研修(講師 ピンクリボンかながわ代表)(9月 14 日、参加者 88 人(水道局 12 人、総務局 67 人、交通局9人))

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29 年度以降の対応】

29 年度は、備蓄飲料水「横浜水缶」のピンクリボン缶 96,000 缶及び「はまっ子どうし The Water」とのコラボボトル 12,000 本を製造、販売予定です。

# 交通局

## 124 職員向け啓発

### 【事業内容】

ピンクリボンかながわからの講師派遣による職員向けがん啓発研修の開催(総務局・水道局との共催)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【実績】

・職員向けがん啓発研修(講師 ピンクリボンかながわ代表)(9月 14 日、参加者 88 人(交通局9人、総務局 67 人、水道局 12 人))

### 【29 年度以降の対応】

29 年度の研修実施については、検討中です。



# 教育委員会事務局

## 125 皆で知ろう！自殺予防、がん検診、結核のポイント

### 【事業内容】

9月に栄区と協働して、企画展示「皆で知ろう！ 自殺予防、がん検診、結核のポイント」を実施しました。

- ① パネル展示(栄区提供)
- ② がん関連図書の展示
- ③ ブックリスト「がんについて知る」(中央図書館作成)を配布

### 【実績】

- ・ブックリスト配布 20部
- ・展示期間は9月中、がん検診については上旬の15日間。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

29年度も引き続き、同様の企画の実施を9月に予定しています。

## 126 教職員定期健康診断(生活習慣病健康診断)

### 【事業内容】

本市教職員に対する定期健康診断のうち、一定年齢(30、35、39歳以上)に該当する職員を対象とした「生活習慣病健康診断」において、次の年齢要件を満たす希望者について、がん検診を実施しました。

- ・胃検診(X線直接撮影)30、35、40歳以上
- ・婦人がん検診(子宮がん:頸部細胞診、乳がん:超音波又はマンモグラフィ+視触診)30、35、40歳以上で偶数年齢
- ・大腸がん検診(便潜血反応検査[二日法])40歳以上で偶数年齢

### 【実績】

- ・胃検診 2,588人
- ・婦人がん検診(乳がん:超音波+視触診) 227人
- ・婦人がん検診(乳がん:マンモグラフィ2方向+視触診) 293人
- ・婦人がん検診(乳がん:マンモグラフィ1方向+視触診) 379人
- ・大腸がん検診 1,312人

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
30,303千円	30,159千円

### 【29年度以降の対応】

引き続き、同内容で実施することを検討しています。

## 127 がん教育

### 【事業内容】

文部科学省の「がんの教育総合支援事業」を受託している神奈川県と連携し、学校におけるがん教育の方法、教材の作成等について検討を行いました。その一環として、市内の中学校においてがん教育のモデル授業(公開)を開催し、学校長、教諭、養護教諭等とともに、県内の他自治体の担当者等とがん教育の方法や次年度以降の取組について意見交換を行いました

### 【実績】

がん教育モデル授業及び意見交換会の実施

- ・瀬谷中学校(9月28日、授業参加35人、意見交換会参加30人)
- ・万騎が原中学(11月10日、授業参加40人、意見交換会参加15人)
- ・小山台中学校(11月21日、授業参加32人、意見交換会参加10人)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【29年度以降の対応】

文部科学省が定めるがん教育のあり方を踏まえ、引き続き県と連携し、文部科学省の教材資料を活用した授業の全校実施に向けて準備を進めます。

## 128 中央図書館 医療講座の実施

### 【事業内容】

テーマを選定し、その分野で活躍する専門家を講師に招き、講演および質疑応答を行う企画事業。28年度は、横浜市立大学との共催により実施しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【実績】

横浜市立大学医療講座

- ・「頭頸部癌について」(9月29日、参加者122人)
- ・「頭痛、首の痛み、腰痛、しびれ…慢性痛とは？～慢性痛治療の新しい取り組み～」(11月9日、参加者149人)

### 【29年度以降の対応】

29年度も横浜市立大学と連携し、医療講座を1回実施します。引き続き、がんや周辺医療に関連する企画を実施し、市民への情報発信、啓発に努めます。

## 129 中央図書館 医療・健康関連企画展示の実施

### 【事業内容】

医療や健康、がんの診断・治療・闘病に関する図書を展示し、関連するパネルを掲示、ブックリストやパンフレット・ちらしを配布する企画事業。28年度は、本市区局との連携により実施しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【実績】

企画展示

- ・「がんについて知る」(9月21日～10月10日)
- ・「健康づくり情報パネル展(共催:西区)」(7月20日～8月14日)

### 【29年度以降の対応】

引き続き、関連局・区と連携し、図書等資料の紹介・貸出、ブックリストやパンフレット・ちらし等の配布を通じて、がん予防や生活習慣病予防など、健康意識の啓発推進に努めます。

## 130 市立高等学校に在籍する生徒の入院時学習支援の実施

### 【事業内容】

市立高等学校に在籍する生徒のうち、入院により登校できないものの修学の意思を強く持ち、学習意欲がある生徒に対して、学習支援を行うための制度を設けました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

### 【実績】

- ・「市立高等学校に在籍する生徒の入院時学習支援実施要項」の制定

### 【29年度以降の対応】

市立高等学校と高校教育課が協議の上、必要な生徒に対して支援に努めます。

# 横浜市立大学

## 131 がん医療に関する医療機器の更新・導入

### 【事業内容】

手術療法、放射線療法、化学療法など、高度ながん医療を実施していくために必要な医療機器について、計画的な更新や新規導入を行い、医療水準の維持及び向上を図っています。

附属病院では、手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)を導入し、現在は保険収載されている前立腺がんおよび腎がんにおいて積極的に治療を行っていますが、婦人科・外科領域についても、全国に先駆けた先進医療の届出を目標に、臨床研究として実施しています。

### 【実績】

・ダ・ヴィンチによる部位別手術件数  
 前立腺(泌尿器科) 71件  
 腎(泌尿器科) 44件  
 子宮(産婦人科) 3件  
 胃(一般外科) 9件  
 直腸(消化器・肝移植外科) 8件

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

【29年度以降の対応】

引き続き、取組を推進していきます。

## 132 がん相談支援センターの運営

### 【事業内容】

がん診療連携拠点病院として、がん患者や家族からの電話及び面談による相談に対応しました。

### 【実績】

<附属病院>

・電話による相談 2,922件  
 ・面談 1,170件

<市民総合医療センター>

・電話による相談 291件  
 ・面談 559件  
 ・その他 83件

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

【29年度以降の対応】

引き続き、取組を推進していきます。(※本事業は国補助対象)

## 133 患者会への支援

### 【事業内容】

患者会への支援

<附属病院>

患者会「ハートマンマの会(乳がん)」、「わいわいクローバーの会(子宮がん)」、「港笛会(喉頭がん)」、「さんふらわ(小児科親子の会)」の活動を支援しました。

<市民総合医療センター>

患者会「乳がんおしゃべりの会 マンマサロン(乳がん)」、「乳房再建の会 再建サロン(乳房再建)」の活動を支援しました。

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

【29年度以降の対応】

引き続き、取組を推進していきます。

### 【実績】

### 134 緩和ケアの充実

**【事業内容】**

医療従事者向けに緩和ケア研修会(疼痛緩和、精神緩和、身体緩和、コミュニケーション技術等をテーマにした講義及びワークショップ)を実施しました。

緩和ケアチームによる院内横断的な活動により、患者さんの苦痛を緩和しました。

**【実績】**

緩和ケア研修会

<附属病院>

第1回:9月10・11日、第2回:10月29・30日、参加者延べ120人

<市民総合医療センター>

第1回:4月2・16日、第2回:9月2・25日、第3回:2月18・19日、参加者延

べ109人

局・事業本部事業

H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
---------------	---------------

**【29年度以降の対応】**

「がん診療連携拠点病院における緩和ケア研修完了計画書策定等について」(27年3月12日付け厚生労働省健康局がん対策・健康増進課事務連絡)を受け、引き続き取組を推進していきます。

### 135 医療従事者の育成及び確保

**【事業内容】**

がん診療にすぐれた技術を持った医療人材を養成することを目的として、専門性の高い教育を行いました。

文部科学省のがん専門医療人養成のための拠点を構築する優れたプログラムに対し財政支援を行う「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」では、24年度に全国で15件の取組が採択され、東京大学(主幹)・横浜市立大学・東邦大学・自治医科大学が合同で申請した「がん治療のブレイクスルーを担う医療人育成」プログラムも採択されています。

28年度は、引き続きキャンサーボードの開催、4大学合同セミナーの遠隔同時中継による開催のほか、MDアンダーソンがんセンターから講師を招き、医学国際化セミナー・がんプロ公開セミナーを同時開催しました。

博士課程「先端のがん治療専門医療人養成コース」では、がんのプロフェッショナルとして様々な専門分野が一同に集まり、新規薬物治療、先端放射線治療、臨床・基礎研究に精通し、最先端のがん治療技術を提供できるような医療人の養成を行いました。

局・事業本部事業

H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
---------------	---------------

**【29年度以降の対応】**

引き続き、取組を推進していきます。(※本事業は国補助対象)

### 136 がん登録の推進

**【事業内容】**

がん診療連携拠点病院として、診療情報管理士を雇用し、国の標準様式によるがん登録を実施しました。また、院内がん登録で収集したデータは、神奈川県悪性新生物登録事業(地域がん登録)にも提供しました。

**【実績】**

・院内がん登録提出件数 ※28年度提出(27年実績)

<附属病院>

2,616件

<市民総合医療センター>

2,342件

局・事業本部事業

H28 予算額 千円	H28 決算額 千円
---------------	---------------

**【29年度以降の対応】**

引き続き、取組を推進していきます。

**137 がんに関する市民向け講座****【事業内容】**

エクステンション講座として、がんに関する市民向け講座を開催しました。

**【実績】**

- ・頭頸部がんの新しい治療を患者さんにお届けするには(4月、77人)
- ・がん診断の実際(7月、99人)
- ・頭頸部がんについて(9月、124人)
- ・婦人科領域の低侵襲手術について(10月、42人)
- ・膵がんの診断と治療～最新の話～(11月、191人)
- ・乳がん治療と乳房再建(1月、98人)
- ・白血病の化学療法について(1月、88人)

局・事業本部事業

H28 予算額	H28 決算額
千円	千円

**【29年度以降の対応】**

引き続き、取組を推進していきます。

## IV 參考資料

◎悪性新生物の部位別死亡数の推移(平成23年～27年)

		部 位	23年	24年	25年	26年	27年	
死 数  (人)	男	<b>総 数</b>	<b>5,489</b>	<b>5,555</b>	<b>5,383</b>	<b>5,693</b>	<b>5,643</b>	
		口唇、口腔及び咽頭	134	142	122	128	148	
		食道	309	294	291	310	311	
		胃	869	820	775	829	783	
		結腸	440	414	433	464	434	
		直腸S状結腸移行部及び直腸 (再掲)大腸 注1)	254 694	271 685	281 714	259 723	264 698	
		肝及び肝内胆管	516	490	496	459	455	
		胆のう及びその他の胆道	206	204	194	224	228	
		膵	413	420	385	424	423	
		喉頭	13	23	27	26	23	
		気管、気管支及び肺	1,165	1,244	1,188	1,331	1,322	
		皮膚	17	29	18	16	13	
		乳房	1	3	4	3	7	
		前立腺	288	274	273	288	270	
		膀胱	128	150	131	141	147	
		中枢神経系	34	30	29	52	48	
		悪性リンパ腫	162	158	172	151	147	
		白血病	112	131	115	114	115	
		その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	42	56	50	61	60	
		その他	386	402	399	413	445	
			<b>総 数</b>	<b>3,532</b>	<b>3,512</b>	<b>3,648</b>	<b>3,696</b>	<b>3,805</b>
			口唇、口腔及び咽頭	63	49	43	56	68
			食道	62	57	64	57	62
			胃	369	373	357	383	393
			結腸	375	398	416	440	463
			直腸S状結腸移行部及び直腸 (再掲)大腸 注1)	134 509	147 545	144 560	145 585	148 611
			肝及び肝内胆管	235	251	207	245	196
			胆のう及びその他の胆道	192	169	190	174	193
		膵	329	345	360	376	371	
	喉頭	2	0	1	2	1		
	気管、気管支及び肺	527	487	526	490	514		
	皮膚	15	22	14	16	9		
	乳房	359	369	429	372	401		
	子宮	153	147	158	170	181		
	卵巣	149	141	149	156	139		
	膀胱	44	65	53	63	58		
	中枢神経系	24	19	26	27	35		
	悪性リンパ腫	120	117	120	135	134		
	白血病	74	65	86	70	79		
	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	55	48	40	47	48		
	その他	251	243	265	272	312		

注1) 結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

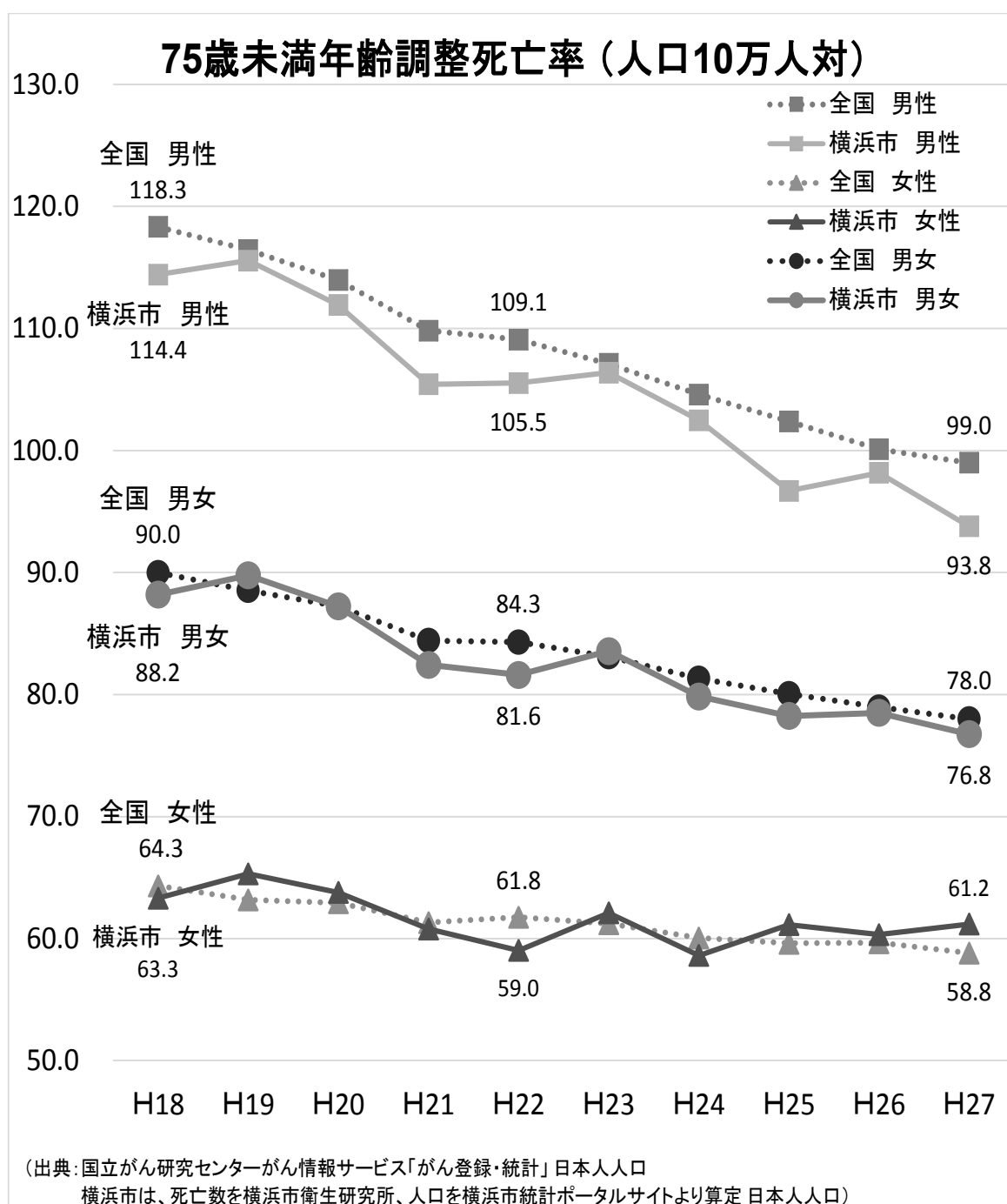
「平成27年 横浜市人口動態統計資料」より抜粋

## ◎ 75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）

国の「がん対策推進基本計画」の全体目標の1つとして「がんによる死亡者の減少」が掲げられました。「75歳未満年齢調整死亡率」はその評価指標として用いられています。この指標が用いられたのは、年齢調整率を用いることで高齢化の影響を除去し、75歳以上の死亡を除くことで壮年期死亡の減少を高い精度で評価するという理由に基づいています。

横浜市の75歳未満年齢調整死亡率は、全国合計とほぼ同水準で推移し、減少傾向となっており、平成27年は、全国合計と比べ1.2低くなっています。

また、男女別でみると平成27年は、男性が全国平均より5.2低く、女性が全国平均より2.4高くなっています。





## ○横浜市がん撲滅対策推進条例

平成26年6月13日

条例第42号

横浜市がん撲滅対策推進条例をここに公布する。

### 横浜市がん撲滅対策推進条例

日本人の死亡原因の第1位はがんによるもので、およそ3人に1人ががんによって亡くなっている。がんの罹患率は年々増加傾向にあり、横浜市民にとって今や特別な疾病とはいえながんと向き合い、その撲滅に向けた総合的な対策を講ずることは急務である。現在、横浜市においては、がん医療に対する調査、最新医療技術の研究を進めるとともに、地域がん診療連携拠点病院の指定などの政策を推進しているところではあるが、今後、更に患者の目線に立ったきめ細やかな取組を計画的に進めていく必要がある。

そして、その取組は、がんの疾病としての特質に鑑み、予防・早期発見・発症部位や発見時期によって異なる医療提供・最新情報の提供・再発防止・緩和ケア・患者家族等関係者への支援等をそれぞれが分断されることなく、患者の就労支援を含め、患者が社会との関わりを保ちながら水準の高い医療と生活を共に享受できるものとしていかなければならない。

国及び神奈川県のがん施策に連動しつつ、横浜市の取組ががんと向き合う全ての関係者のより強力な支えとなることを目指し、ここに横浜市がん撲滅対策推進条例を制定する。

### (目的)

第1条 この条例は、がんの撲滅を目指し、がん対策基本法(平成18年法律第98号)及び神奈川県がん克服条例(平成20年神奈川県条例第25号)の趣旨を踏まえ、横浜市(以下「市」という。)のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がんの予防及び早期発見に資するとともに、全ての市民が適切ながんに係る医療を受けられるようにするための総合的ながん対策を推進することを目的とする。

### (市の責務)

第2条 市は、国、神奈川県(以下「県」という。)、医療機関、医療関係団体及び保健医療関係者(がんの予防若しくは早期発見の推進又はがんに係る医療に携わる者をいう。以下同じ。)並びにがん患者及びその家族等で構成される団体その他の関係団体(以下「がん患者等関係団体」という。)との連携を図りつつ、がん対策に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

2 前項の施策は、医療のほか介護、福祉、教育、雇用等幅広い観点からの検討を踏まえて策定されるものでなければならない。

3 市は、各区の地域性に応じ、前2項の規定により策定された施策について、当該各区の区民への周知を図り、その理解及び関心を深めるよう努めるものとする。

### (市民の責務)

第3条 市民は、市が実施するがん対策に関する施策に協力し、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣及び生活環境が健康に及ぼす影響等がんに関する正しい知識を持ち、がんの予防に必要な注意を払うよう努めるとともに、積極的にがん検診を受けるよう努めなければならない。

### (保健医療関係者の責務)

第4条 保健医療関係者は、市が実施するがん対策に関する施策に協力し、がんの予防に寄与するよう努めるとともに、がん患者の置かれている状況を深く認識し、かつ、その意向を十分に尊重し、適切ながんに係る医療を行うよう努めなければならない。

- 2 保健医療関係者は、がん患者及びその家族等に対し、積極的にこれらの者が必要とするがんに関する情報を提供するよう努めるものとする。

#### (事業者の責務)

第5条 事業者は、市が実施するがん対策に関する施策に協力するとともに、従業員ががんを予防し、又は早期に発見することができる環境の整備に努めなければならない。

- 2 事業者は、従業員又はその家族ががん患者となった場合であっても、当該従業員が勤務を継続しながら治療し、療養し、又は看護することができる環境の整備に努めなければならない。

#### (がんの予防の推進)

第6条 市は、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣及び生活環境が健康に及ぼす影響に関する知識の普及啓発その他がんの予防の推進のために必要な施策を講ずるものとする。

- 2 市は、健康増進法(平成14年法律第103号)第25条に規定する施設を管理する者又は神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例(平成21年神奈川県条例第27号)第2条第4号に掲げる施設管理者と連携し、受動喫煙の防止の推進のために必要な施策を講ずるものとする。
- 3 市は、女性に特有のがんである子宮頸がんに関し、罹患しやすい年齢を考慮した予防手段についての正しい知識の普及啓発のため必要な施策を講ずるものとする。

#### (がんの早期発見の推進)

第7条 市は、がんの早期発見に資するよう、保健医療関係者、がん患者等関係団体等と連携し、がん検診の受診率及び質の向上等を図るために、次に掲げる施策を講ずるものとする。この場合において、市は、必要に応じ市のがん対策に賛同する事業者等による提案又は創意工夫を活用するほか、当該施策の効果的な実施を図るために必要な検討を加えるものとする。

- (1) がんの早期発見の重要性に関する啓発及び広報
  - (2) がん検診の受診が可能な医療機関等の周知
  - (3) がん検診の受診に係る費用の助成
  - (4) 年齢、性別等を考慮したがん検診の受診の勧奨
  - (5) がん検診の精度管理の充実
  - (6) 前各号に掲げるもののほか、がんの早期発見の推進に関し必要な施策
- 2 市は、毎年、期間を指定し、がんの早期発見の重要性に関する啓発及び広報等を重点的かつ効果的に実施するものとする。

#### (がんに係る医療の充実)

第8条 市は、がん患者がそのがんの状態に応じた適切ながんに係る医療を受けることができるようにするため、県、医療機関等と連携し、次に掲げる施策を講ずるものとする。

- (1) がん診療連携拠点病院(がんに係る専門的な医療の提供、がん患者に対する相談支援及び情報提供等を行うことを目的として厚生労働大臣の指定を受けて設置される医療機関をいう。)及びこれに準ずる病院の整備及び機能の強化
- (2) 手術療法、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療法の普及並びに高度で先進的な医療技術の導入の推進
- (3) 地域連携クリティカルパス(第1号に掲げる病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。)の活用等による同号に掲げる病院相互間又は同号に掲げる病院とその他の医療機関等との連携の強化

- (4) 小児がんの実態把握の強化並びに診療に係る医療機関相互の連携及び協力の促進
- (5) 前各号に掲げるもののほか、がんに係る医療の充実に必要な施策

(がん患者及びその家族等への支援)

第9条 市は、がん患者の療養生活の質の維持向上並びにがん患者及びその家族等の精神的な苦痛、社会生活上の不安等の軽減に資するため、県、医療機関等と連携し、次に掲げる施策を講ずるものとする。

- (1) がん患者及びその家族等に対するセカンドオピニオン(診断又は治療に関する担当医師以外の医師の意見をいう。)を含めた相談体制の充実強化
- (2) がん患者等関係団体が行うがん患者の療養生活及びその家族等に対する活動の支援
- (3) 前2号に掲げるもののほか、がん患者及びその家族等への支援に関し必要な施策

(緩和ケアの充実)

第10条 市は、がん患者の身体的又は精神的な苦痛、社会生活上の不安等の軽減を目的とする医療、看護その他の行為(以下「緩和ケア」という。)の充実に図るため、県、医療機関等と連携し、次に掲げる施策を講ずるものとする。

- (1) 緩和ケアを提供する医療機関の整備の促進
- (2) 緩和ケアに関する専門的な知識及び技能を有する医療従事者の育成
- (3) がん患者の状況に応じたがんと診断された時からの緩和ケアの推進
- (4) 緩和ケアに係る地域における連携協力体制の整備
- (5) 居宅において緩和ケアを受けられることができる体制の整備
- (6) 前各号に掲げるもののほか、緩和ケアの充実に必要な施策

(在宅医療の充実)

第11条 市は、がん患者がその居宅において療養できる体制の整備のため、次に掲げる施策を講ずるものとする。

- (1) がんに係る在宅医療に従事する医師、看護師その他の医療従事者及び介護従事者の育成及び確保
- (2) 医療機関、介護サービス事業者その他がんに係る在宅医療に関わる団体等の連携の強化
- (3) 在宅医療を希望するがん患者及びその家族等に対する情報提供、相談支援等の充実
- (4) 前3号に掲げるもののほか、がんに係る在宅医療の充実に必要な施策

(医療従事者の育成及び確保)

第12条 市は、手術療法、放射線療法、化学療法その他のがんに係る医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成及び確保を図るため、必要な施策を講ずるものとする。

(情報の収集及び提供等)

第13条 市は、市民ががんに係る医療に関する適切な情報を得られるよう、国、県、医療機関等と連携し、情報の収集に努めるものとする。

- 2 前項の規定による情報の収集は、世界保健機関その他の国際機関及び諸外国の高度で先進的ながんに係る医療に関する情報を対象とするなど、幅広い観点から行うものとする。
- 3 市は、市民に対し、がんに係る医療、がん患者及びその家族等の支援等に関する情報を提供するため、県、医療機関等と連携し、必要な広報活動その他の施策を講ずるものとする。

- 4 市は、がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)によるがん登録(同法第2条第2項に規定するがん登録をいう。)の推進に協力するものとし、全国がん登録情報(同条第7項に規定する全国がん登録情報をいう。以下同じ。)等を利用して得られた知見に基づき、医療機関に対し、がんに係る医療の質の向上に資する情報を提供するとともに、当該知見について、市民が理解しやすく、かつ、がん患者の治療方法の選択に資する形で公表するよう努めるものとする。
- 5 市は、白血病等の血液がんに対する有効な治療法である骨髄移植及び臍帯血移植を促進するため、医療機関、医療関係団体等と連携し、骨髄バンク事業及び臍帯血バンク事業の普及啓発その他の必要な施策を講ずるものとする。

(がん研究の推進)

第14条 市は、公立大学法人横浜市立大学におけるがん対策に係る研究に対する支援その他の高度で先進的ながん対策に係る研究が推進されるために必要な施策を講ずるものとする。

(情報等の活用)

第15条 市は、第13条第1項及び第2項の規定により収集した情報、全国がん登録情報並びに前条の規定により得られた研究の成果が活用されるために必要な施策を講ずるものとする。

(財政上の措置)

第16条 市は、がん対策に関する施策を計画的に実施するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

(表彰)

第17条 市は、第5条の規定による環境の整備その他がん対策の推進に関し特に著しい功績のあったものに対し、表彰を行うものとする。

(市会への報告)

第18条 市長は、毎年、市会にがん対策に関する施策の実施状況を報告しなければならない。

(委任)

第19条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例は、平成26年10月1日から施行する。ただし、第13条第4項及び第15条(全国がん登録情報に係る部分に限る。)の規定は、がん登録等の推進に関する法律の施行の日から施行する。